

要 覧

平成22年度

宮 城 県 図 書 館

目 次

I 沿革・概要	1
1 図書館のあゆみ	2
2 施設概要	6
3 組織・事務分掌	7
II 宮城県図書館振興基本計画	8
宮城県図書館振興基本計画	9
III 平成21年度概況	10
1 概況	11
2 平成21年度予算	12
3 実施事業の概況	13
(1) 生涯学習に役立つ図書館	13
(2) 情報の拠点としての図書館	19
(3) 次世代を育成する図書館	22
4 平成21年度宮城県図書館協議会	26
5 平成21年度図書館資料利用状況等(統計)	27
6 広報活動並びに刊行物	38
7 平成21年度の主な行事	39
IV 平成22年度事業計画	41
1 平成22年度予算	42
2 平成22年度事業計画	43
3 平成22年度宮城県図書館協議会	48
V 資料	49
1 特殊文庫	50
2 所蔵資料目録刊行状況	51

I 沿革・概要

1 図書館のあゆみ

- 明治14年 7月 宮城書籍館を仙台市勾当台通28番地 宮城師範学校内に創設 (25日)
講堂 (116㎡) を閲覧室, 書庫 (66㎡ 2階建) を業務室と書庫に利用。蔵書数17, 682冊
- 25年 5月 大槻文彦 (当時の尋常中学校長 国語辞典『言海』の著者) が第 8代館長を兼務
- 26年 1月 宮城師範学校移転後, 附属小学校校舎を修築し, 延304㎡の独立館舎となる
- 40年 4月 名称を宮城県立図書館と改称
- 大正元年10月 現在の勾当台公園南辺に独立館舎新築落成 (延面積1, 740㎡, 蔵書数68千冊)
- 8年11月 名称を宮城県図書館に改称
- 昭和 6年10月 宮城県図書館創立50周年・青柳文庫創立100周年記念式典を挙 (13日)
- 8年10月 図書館令により宮城県中央図書館に指定
- 20年 4月 戦災を避けるために貴重な図書類 (8, 557冊) を宮城町上愛子の石垣彦左エ門, 同町芋沢の佐藤兵之進両家の土蔵に疎開する
- 20年 7月 仙台空襲のため館舎, 書庫及び図書類全焼 (9日深夜~10日早朝)
- 24年11月 宮城県庁西側 (旧養賢堂跡地) に図書館落成 (建築面積725㎡, 延面積1, 091㎡)
- 24年12月 伊達家より伊達文庫約35, 000冊を購入 (25日)
- 25年 3月 大槻文庫79種, 214点が寄贈される
- 31年 4月 国立国会図書館よりP Bレポート (米国務省内のReport of Publication Board) の貸与を受け, 東北大学内に宮城県図書館分室P Bレポート東北地区センターを置く
- 33年12月 児童会館 (新坂通) に「分室こどもとしょかん」を開設し児童書を移管
- 37年 4月 P Bレポートセンターを東北地区科学技術資料館と改称
- 38年 4月 宮城県図書館館則の公布, 施行
- 39年10月 宮城県図書館新築に関する請願について, 県議会厚生文教常任委員会について採決
- 40年 9月 宮城県議会において, 起債3, 000万円が決定し補正予算5, 000万円計上提案され, 県図書館新築決定
- 40年12月 仙台市榴ヶ岡 5番地を図書館用地にするため, 県開発公社と孝勝寺役員代表 (所有者) が土地売買契約締結 (用地面積3781. 25㎡)
- 41年 1月 昭和41年度図書館建築費国庫補助金1, 500万円交付決定
- 41年 5月 宮城県教育委員会行政組織規則の施行に伴い, 総務課, 資料課, 奉仕課の 3課制を実施
- 42年 1月 仙台市榴ヶ岡 5番地に県図書館新築のため, 起工式挙行
- 43年 1月 昭和43年度全国公共図書館視聴覚部門研究集会開催
宮城県図書館を仙台市榴ヶ岡 5番地に新築落成, 開館 (18日, 延面積4, 040㎡, 蔵書数19万冊)
昭和31年 4月東北大学内に設置した東北地区科学技術資料館を新館に移転
- 43年 9月 配本車の運行開始, 県内69市町村に配本所設置
- 44年 4月 宮城県図書館利用規定 (昭和44年 4月 1日社第469号承認) を制定, 施行
- 44年 7月 移動図書館車「こかげ号」運行開始。県内23市町村を対象にへき地を選び53駐車場を設置
- 45年 1月 宮城県図書館協議会規則公布, 施行
- 49年10月 昭和49年度全国公共図書館視聴覚部門研究集会開催
- 50年10月 昭和50年度全国公共図書館整理部門研究集会開催
- 51年 3月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により 3課 7係を設置
- 52年 5月 第28回北日本図書館大会開催
- 53年 6月 宮城県沖地震 (12日)。地震による被害のため 6日間休館
- 53年10月 移動図書館車「こかげ号」更新
- 56年10月 創立100周年記念式典を挙 (31日)
- 58年 7月 本館北側に積層書庫を増築落成 (建面積246. 35㎡, 延面積1181. 10㎡)。書庫増築工事に伴い, 電動書架, 積層書架, 昇降機等を増設
- 59年 3月 創立100周年記念事業として『宮城県図書館百年史』を発行

- 60年10月 国際青年年記念「みやぎ青年文庫」開設
全国図書館大会開催
- 61年 2月 日曜開館に伴う館則の一部改正（休館日）公布
- 61年 3月 利用規程の一部改正（閉館時間）
- 61年 4月 日曜開館始まる
- 61年11月 『宮城県図書館協会だより』創刊
- 62年 9月 新書庫 4・5層空調工事完了
- 62年10月 仙台通産局特許情報閲覧室が太陽生命ビル内に開所したため本館での閲覧を休止
- 63年 4月 宮城県図書館協会研究委員会から研究報告「県内図書館サービスネットワークのありかたに関する研究」発表
- 63年 6月 コミネット仙台パソコン通信加入。通信開始（行事等の案内）
- 63年 7月 特集文庫「21世紀ライブラリー」開設（分類にNDC 8版を採用）
- 平成元年 6月 宮城県図書館資料収集方針施行
- 元年 8月 松島瑞巖寺所蔵の仙台版木1,700枚を移管
- 元年11月 特許公報類地方閲覧所を廃止
- 2年 3月 図書館情報ネットワークシステム調査委員会から教育長あて報告書提出
- 2年 6月 本館所蔵『坤輿万国全図』が国の重要文化財に指定
- 3年 2月 宮城県図書館館則の一部を改正する規則（休館日）公布
- 3年 3月 宮城県図書館協議会から館長あて協議会審査報告書『宮城県図書館の整備充実方策について』提出
- 3年 6月 協力車運行開始（5コース、月1回運行）
- 3年 7月 特集文庫「東北学ライブラリー」開設
- 3年 9月 有識者等からなる宮城県図書館建設委員会設置
- 4年 7月 文仁親王殿下、文仁親王妃紀子殿下来館（20日）
宮城県図書館建設委員会から県教育長あて「宮城県図書館建設基本構想」提出
- 4年10月 第4回全国生涯学習フェスティバル協賛事業開催（3事業）
- 6年 3月 移動図書館巡回事業廃止
宮城県図書館情報ネットワークシステム概要設計完成
- 6年 4月 特集文庫「宮城学習の森ライブラリー」開設
- 6年12月 国指定重要文化財『坤輿万国全図』（着色）6幅修復完了
- 7年 1月 宮城県図書館調査専門会議設置
- 7年 4月 第3回宮城県図書館調査専門会議開催
- 7年 6月 平成7年度北日本地区公共図書館研究協議会、第46回北日本図書館大会、第11回宮城県図書館大会開催（於：仙台市）
- 7年 9月 国指定重要文化財『坤輿万国全図』6幅修復完了
- 7年11月 宮城県図書館調査専門会議 報告書提出
新宮城県図書館起工式（仙台市泉区紫山一丁目1番地）
- 7年12月 井上藤吉氏より「街頭紙芝居」4万点寄贈される
- 8年 9月 北海道・東北地区視聴覚ライブラリー研究協議会開催（仙台市）
- 8年10月 北日本地区公共図書館研究協議会総務部門開催（仙台市）
利用者端末設置稼働・生涯学習情報提供システム稼働
宮城県図書館情報ネットワークシステム稼働
- 8年11月 文化財保護課へ博物資料13点移管
- 9年 6月 宮城県教育改革推進本部図書館利用調整部会開催
- 9年 7月 新図書館運営検討調整部会開催
- 9年 8月 宮城県図書館（榴ヶ岡）閉館記念行事（最終映画会、図書館探検）。閉館（31日）
- 9年 9月 新宮城県図書館竣工

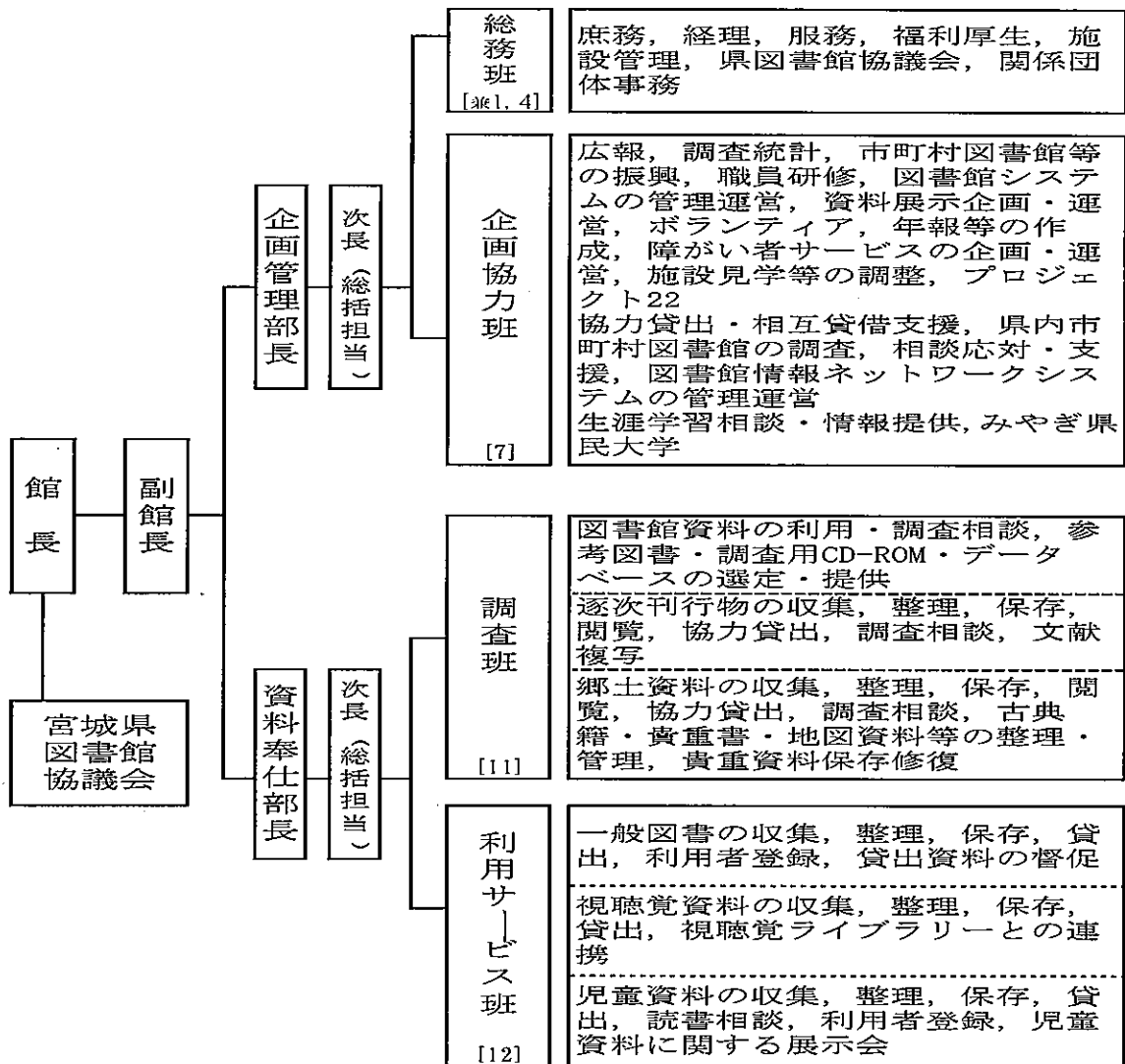
- 9年10月 新館への移転開始
- 10年 1月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により 2部 4課 9係制を設置
- 10年 3月 新館オープン (21日)。開館記念事業 (コンサート・上映会・図書館探検)
- 10年11月 祝日開館施行始まる
- 11年 2月 宮城県図書館協議会より県内図書館の振興策について答申
- 11年 4月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により 2部 4班制を設置
- 12年 4月 祝日開館本格実施
図書館作成ホームページ公開 (20日)
本館所蔵『仙台北城下絵図』等13点が仙台市指定有形文化財に指定 (28日)
- 12年 6月 子ども読書年記念行事開催
- 13年 4月 インターネット蔵書検索システム公開 (1日)
館内利用者用蔵書検索システム更新 (1日)
- 13年 7月 宮城県図書館創立120周年記念特別展示「青柳文庫展」開催
- 14年 2月 古文書 (購入分, 約15,000点) を東北歴史博物館 (宮城県多賀城市) へ移管
- 14年 3月 図書館情報ネットワークシステム (館内業務用図書館システム, 市町村図書館ネットワークシステム) 更新
宮城県内図書館総合目録 (横断検索) システム公開 (1日)
音と映像のフロア機器更新
- 14年 6月 図書館ホームページ内でメールによるレファレンス受付開始 (8日)
- 14年11月 学都仙台オンライン目録 (東北大学附属図書館提供) に参加 (25日)
- 15年 1月 本館所蔵『禽譜』『観文禽譜』ほか 8資料が県指定文化財 (書籍) に指定 (31日)
- 15年 2月 特別展「きらめく叡智と美のしずく展—図書館新館五周年記念・宮城の至宝展—」開催 (2月11日～3月28日)
- 15年 4月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により 2部 5班10担当制を設置
- 15年 5月 三陸南地震 (26日18時24分ごろ, M7.0, 最大震度 6弱)
地震による被害のため 6月15日まで臨時休館 (月曜日を除く休館日数17日)
- 15年 7月 本館所蔵『仙台北城下絵図』『仙台北城下絵図』等970資料が県指定文化財 (歴史資料, 書籍) に指定 (1日)
- 16年 4月 22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業—みやぎ文化資源の保存・活用事業の推進—が平成30年までの15カ年計画の予定でスタート
- 16年 6月 本館所蔵『音点春秋左伝詳節句解』等朝鮮古刊本262資料が県指定文化財 (典籍) に指定 (29日)
- 17年 1月 本館所蔵貴重資料を「叡智の杜Web」と題してホームページで公開
- 17年 4月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により 2部 4班制を設置
宮城県図書館資料収集方針を改正し, 施行
- 17年 7月 本館所蔵『環海異聞』『奥州名所図会』等 6件35点が県指定文化財 (典籍, 歴史資料) に指定。また『北極出地度里程測量』 3点が先に指定を受けた『伊能図』 5軸の附属資料として追加指定 (26日)
- 18年 3月 本館所蔵「紙芝居資料」 5,652点が国の登録有形文化財 (美術工芸品) に登録 (31日)
- 18年 4月 文化庁「平成18年度文化ボランティア推進モデル事業」委嘱 (10日)
- 18年 6月 第56回北日本図書館大会宮城大会・宮城県公共図書館等総合研修会開催 (29～30日)
- 18年11月 宮城県図書館創立125周年記念・東北大学附属図書館合同企画展「江戸の遊び」をせんだいメディアテークで開催 (4～14日)
文部科学省委嘱「平成18年度図書館地区別 (北日本) 研修」開催 (7～10日)
宮城県図書館創立125周年記念コンサート「J. Sバッハ無伴奏チェロ組曲演奏会」開催 (19日)

- 19年 2月 本館所蔵『宮城県漁具図解及び略解』1件2点が県指定文化財(書籍, 典籍)に指定。また『和算四伝書(写本)』33点が先に指定を受けた474点に追加指定(16日)
秋田県立図書館交流展「きらめく叡智と美のしづく展～宮城県図書館所蔵貴重資料の世界～」開催(19日～3月25日)
- 19年 3月 宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録検索システム公開(1日)
- 19年 6月 文部科学省モデル事業「22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト」委託(29日)
- 19年10月 本館所蔵『奥羽観蹟聞老志』『風土記御用書出』2件86点が県指定文化財(書籍, 典籍)に指定(26日～平成20年3月15日)
秋田県立図書館交流展「きらめく叡智と美のしづく展～秋田県立図書館所蔵貴重資料の世界～」開催(6日～12月5日)
- 19年11月 館内整理日(第一金曜日)開館実施(2日)
- 20年 2月 第3次宮城県図書館情報ネットワークシステム更改, 自動貸出機導入
音と映像のフロアでのブース視聴廃止
- 20年 3月 『みやぎの叡智—宮城図書館貴重書の世界—』(郷土関係貴重書の図版解説目録)発行(1日)
宮城県図書館振興基本計画 2008-2012年 策定・公開(31日)
- 20年 7月 平成20年度 北日本図書館連盟・経営部門研究協議会開催(25日)
- 20年10月 東北大学附属図書館/宮城県図書館合同企画展「はっぴいさんぼう—和算の世界へようこそ!—」開催(25日～11月24日)
- 21年 3月 宮城県図書館振興基本計画に基づく行動計画(2008-2012)アクションプラン策定
宮城県図書館資料収集方針・同資料選定基準改訂
- 21年 4月 レファレンス事例集のWeb公開開始
- 22年 3月 Web予約開始

2 施設概要

敷地面積	55,278.74m ²		
構造	SRC 地上4階, 地下1階		
建築面積	6,358.12m ²		
延床面積	18,100.63m ²		
収蔵能力	1,500,000冊		
	面積 : 3,512.58m ²		
	開架冊数 : 300,000冊		
	閲覧席 : 393席		
開架・閲覧室	利用者用検索端末	蔵書検索用	24台
		インターネット用	7台
	デジタル情報閲覧端末	CD/DVD-ROM・オンラインDB用	12台
		CDデータ用	4台
		自動貸出返却装置	3台
	その他 : 雑誌架, 新聞差し, ベンチ		
音と映像のフロア	面積 : 523.10m ²		
	開架冊数 : ビデオ6,000本, CD5,000枚, DVD1,500枚, 楽譜5,000冊		
子ども図書室	面積 : 452.25m ²		
	閲覧席 : 25席		
	その他 : 絵本架, 紙芝居架, 児童書架, 新着図書架, 児童雑誌・新聞架		
	開架冊数 : 20,000冊		
閉架書庫	面積 : 3,134.39m ²		
	3階書庫 : 500,000冊		
	4階書庫 : 700,000冊		
駐車場 (敷地内)	面積 : 6,700m ²	駐車台数 : 300台	
駐車場 (借地)	面積 : 約5,500m ²	駐車台数 : 120台	

3 組織・事務分掌 (平成22年 4月 1日現在、[]内は職員数)



○職員数

() : 司書・司書補有資格者内数

職名	館長	副館長	部長	次長	主幹	主任主査	主査	主事	計	嘱託	臨時職員	計
人数	1 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (1)	5 (1)	3 (1)	7 (1)	18 (8)	40 (12)	18 (18)	23 (7)	41 (25)

Ⅱ 宮城県図書館振興基本計画

宮城県図書館振興基本計画

1 理念

情報の拠点としての県図書館の機能を強化し、地域文化を保護・育成・活用する「22世紀を牽引する叡智の杜づくり」を進め、県民の皆様のより充実した生涯学習を支援します。
なお、この計画は2008年から2012年の5ヵ年で進めるものです。

2 基本方針

- (1) 生涯学習に役立つ図書館
- (2) 情報の拠点としての図書館
- (3) 次世代を育成する図書館

3 施策と事業計画

- (1) 生涯学習に役立つ図書館
 - ① 資料の収集・整備
 - a 生涯学習に役立つ資料の収集と整備
 - ② 生涯学習情報の提供
 - a 学習機会の提供
 - ③ 利用しやすい図書館への工夫
 - a 情報発信の促進
 - b 館内表示の工夫
- (2) 情報の拠点としての図書館
 - ① 県内市町村図書館等への支援・連携・協働
 - a 図書館資料の協力貸出の推進
 - b 図書館間の相互協力体制の充実
 - c 図書館の整備・運営に関する助言
 - ② いつでもどこでもサービスを受けられる体制の充実
 - a 図書館情報ネットワークシステムの整備
 - b 障がい者サービスの充実
 - ③ 調査・研究に役立つ機能の充実
 - a 調査・研究に役立つ資料の収集
 - b レファレンス事例の作成・公開
- (3) 次世代を育成する図書館
 - ① 郷土関係資料の維持・充実
 - a 宮城に関する資料の収集と整備
 - b 宮城県の行政資料の収集と行政課題に関する情報提供
 - ② 子どもの読書環境の充実
 - a 読書環境の整備充実
 - b 読書活動の理解の促進
 - ③ 「宮城県図書館次世代育成プロジェクト」の推進
 - a 図書館の知的財産の活用
 - b 図書館の人的資源の活用

Ⅲ 平成 21 年度概況

1 概況

平成 21 年度は、『宮城県図書館振興基本計画』及びその具体的な方向性を示した行動計画（アクションプラン）に基づき、情報の拠点としての図書館の機能を強化し、地域文化を保護・育成・活用する「22 世紀を牽引する叡智の杜づくり」を進め、県民の皆様のより充実した生涯学習を支援するため、計画に掲げる各種の事業を展開し利用者サービスの向上に努めました。

今年度からの新たなサービスとしては、Web 予約を導入しました。自宅のパソコンや携帯電話から蔵書の検索をし、貸出中の資料については、そのまま Web 上で予約ができるものです。このことにより、来館せずに予約をし、その資料が返却されるのを待って受け取ることができるようになりました。

また、平成 21 年 4 月から調査相談事例（レファレンス事例）のホームページによる公開を開始し、図書館での資料の調べ方などについて紹介しています。

県民の生涯学習の一助とするため、館長の郷土に関する研究に基づいた特別講座と所蔵資料の紹介を兼ねた職員の発表の場である県民大学を開催したところ、多くの方々の参加をいただき、新たな発見につながる貴重な学習としてご好評をいただきました。

展示室においては、特別展「THE MANGA～宮城が生んだヒーローたち～」で本県出身の漫画家を取り上げて本館所蔵の資料を展示・紹介したり、「立版古（たてばんこ） 江戸・明治の飛び出す錦絵」と題し、立版古のほか所蔵中のおもちゃ絵をもとに制作したペーパークラフトの制作過程も紹介しました。

このほか、国立国会図書館のデジタルアーカイブから本館のデジタル画像を取り込み、全国からのアクセスが容易にできるようになりました。

上映会では、新たに音声、字幕が付加された資料を用いたバリアフリー上映会を開催しました。

「貴重資料保存修復事業」では、「陸奥国仙台領際絵図」（計 2 舗）の修復を行いました。また、緊急雇用創出事業を活用して、本館刊行の冊子目録『宮城県図書館郷土資料件名標目表』（1992 年刊／郷土資料の件名（キーワード）を分類別に体系化したもの）と『宮城県図書館和古書目録』など計 5 冊を電子情報化しました。

次世代育成を目的とした事業としては、複製資料の学校等への貸出、子どもの本の小学校への移動展示会等を通して読書環境づくりや読書活動の普及に努めました。

所蔵資料の総点検を行う特別整理期間については、利用者の利便性を考慮し、作業行程の見直しを図り当初の計画期間を 1 日短縮しました。

図書館の利用状況は、個人貸出冊数が 903,075 冊、レファレンスが 33,220 件で、いずれも前年度実績を下回りました。

2 平成21年度予算

(単位：千円)

区 分	予 算 額 (20年度当初)	概 要
管 理 経 費	228,309 (232,647)	本館の運営維持費（職員の人件費を除く）
図 書 館 協 議 会	439 (429)	図書館協議会運営費
図 書 館 運 営 費	3,884 (6,246)	機器使用料, 消耗品等に要する経費
市 町 村 支 援 費	53,252 (53,609)	市町村図書館・公民館図書室の支援に要する経費
企 画 広 報 費	747 (784)	広報等に要する経費
資 料 購 入 費	42,767 (45,010)	資料購入費
貴重資料保存修復事業費	2,257 (2,258)	本館所蔵貴重資料の保存及び修復に要する経費
合 計	331,655 (340,983)	

3 実施事業の概要

(1) 生涯学習に役立つ図書館

① 資料の収集・整備

a 生涯学習に役立つ資料の収集と整備

資料の整備状況

〔一般図書資料〕（外国語書籍を含む）

購入7,247冊，寄贈1,514冊，その他966冊の受入・整理を行ったほか，1日短縮の見直しを図った特別整理期間には，蔵書点検や本棚の整理，清掃等を行いました。また，利用者が資料を選びやすいように，書架の両端に分類等の表示を行いました。

〔視聴覚資料〕

購入資料点数は389点で，内訳はDVD（234点），カセットテープ（34点），コンパクトディスク（79点），楽譜（33点），そして新しい形態の映像資料としてELIB（9点）を，県民の学習ニーズ，教育の今日的課題，保存の必要性（郷土資料を含む）の視点から収集，受入・整理を行いました。また，利用者が資料を選びやすいように，配架を工夫しました。

購入資料，寄贈資料，その他を含め，全体で631点の整理を行いました。

録音図書，字幕・音声解説ビデオ資料等については，計画的な整備に努めました。

〔児童資料〕（紙芝居などを含む）

購入4,760冊，寄贈114冊，その他60冊の図書を整理しました。資料については，見計らい選書を中心に児童図書及び研究資料を精選して収集しました。

開架書架を増設し，今まで閉架書庫にあった児童資料研究室資料の一部を移動することにより，より多くの資料を直接手に取り利用できるように工夫しました。

〔逐次刊行物〕

雑誌，年鑑類，行政資料，新聞は合わせて購入849タイトル，寄贈2,603タイトル，計3,452タイトルを受け入れ，整理しました。雑誌のうち『国文学』『広告批評』など9誌が平成21年度途中に廃刊となりました。

県内市町村図書館からは，移管雑誌を502タイトル，8,591冊を受け入れ，整理しました。雑誌の特集情報を検索ツールとして整備するために，本館業務システムへの登録作業を行い，21年度分登録件数は11,970件で，全登録総数は49,356件となりました。

〔郷土資料〕（地図・電子図書・マイクロフィルムを含む）

郷土関係資料は，購入502点，寄贈945点，計1,447点を受け入れ，整理しました。地図の受け入れは行いませんでした。

重点テーマとして『セントラル自動車社史』など「自動車産業関係資料」，「地震・津波関係資料」などを収集しました。

古典籍の利用者用代替資料（マイクロフィルム）の劣化に対応するため，再整備事業を実施しました。平成21年度は『奥道中歌』『仙台領古城』など地誌関係の古典籍マイクロフィルム52本を複製し，7本にまとめて収録しました。

② 生涯学習情報の提供

a 学習機会の提供

・ボランティア活動の機会の提供

図書館でのボランティア活動の機会を提供するために，ボランティアの募集を行いました。

新規登録は51人で，ボランティア登録者は延べ121人となりました。一般講座（20年度末に実施済み参加者：38人）のほか，活動内容ごとの専門講座として，一般書架整理（登録者32人），児童書架整理（同9人）視聴覚整理（同18人），読み聞かせ（同10人），音訳（同35人），図書館案内（同17人）を実施しました（一部20年度末に実施済み）。また，次年度継続希望者を対象に全体研修会を実施しました。

図書館ボランティア研修

1) 養成講座〈本館ボランティア 平成21年度新規登録者(41人)を対象に実施〉

ア 一般講座

期日：平成21年 2月26日(木)・28日(土) (追加登録者向け 5月21日(木)・23日(土))

内容：宮城県図書館の概要，ボランティアについて，各活動担当者の紹介

(参加者：48人、内 追加登録参加者10人)

イ 専門講座(活動分野ごとに，ボランティア登録を行い，専門講座を実施しました。ただし，複数の専門講座を受講できることとしています。)

書架整理一般 (全2回)〈平成21年度新規登録者 19人〉

回	期日	内容	参加者
1	5月21日(木)	ラベル(請求記号)・配架について	4人
2	5月23日(土)	ラベル(請求記号)・配架について	2人

書架整理児童 (平成21年度新規登録者 9人)

回	期日	内容	参加者
1	21年 2月26日(木)	ラベル(請求記号)・配架について①	4人

視聴覚 (全2回)〈平成21年度新規登録者 8人〉

回	期日	内容	参加者
1	21年 3月27日(金)	活動内容について・フロア配架区分について・配架練習①	4人
2	21年 3月28日(土)	活動内容について・フロア配架区分について・配架練習②	4人

読み聞かせ (平成21年度新規登録者 5人)

回	期日	内容	参加者
1	21年 2月26日(木)	おはなし会について，選本について	5人

音訳Ⅰ (全4回)〈平成21年度新規登録者 7人 経験年数2年未満の継続者 9人〉

回	期日	講座Ⅰ内容	参加者
1	4月16日(木)	障がい者サービスについて，読み調べについて	6人
2	4月23日(木)	読み調べについて	6人
3	5月13日(水)	音訳サービスの実際1(読みの基本，機器の操作方法)	6人
4	5月14日(木)	音訳サービスの実際2(機器の操作方法)全体会	16人

音訳Ⅱ (全2回)〈平成21年度現在登録者36人〉

回	期日	講座Ⅱ内容	参加者
1	9月30日(水)	読みの基本，音訳マニュアルについて	12人
2	10月3日(土)	文芸作品の読み方，報道記事の読み方	16人

図書館案内(全4回)〈平成21年度新規登録者6人を含む17人を対象に実施〉

回	期日	内容	参加者
1	5月29日(金) 5月30日(土)	施設見学(どこでどのように案内を行えばよいかについて) 対象：新規登録者	8人
2	7月4日(土) 7月10日(金)	常設展きらめく叡智と美のしずく 宮城の貴重書レプリカ展(見どころとお勧めポイントについて) 対象者：希望者	13人
3	11月21日(土)	特別展THE MANGA～みやぎが生んだヒーローたち～(見どころとお勧めポイントについて) 対象者：希望者	10人

4	22年 3月13日(土)	特別展立版古～江戸・明治の飛び出す錦絵～ (見どころとお勧めポイントについて) 対象者：希望者	5人
---	-----------------	---	----

2) 全体研修会 (本館ボランティア登録者121人(新規51人, 継続70人)を対象)

期日：平成22年3月11日(木)

内容：各活動報告・講義「障がい者サービスについて」(参加者：31人)

・上映会

年間を通し定期的に49回実施し、1,555人の入場者がありました。これは、昨年度の2倍以上の数値となっています。年度途中にアンケートを実施し、その結果も踏まえ年度後半の上映作品を選定し実施しました。アンケートでは既上映作品の再上映や図書館では所蔵していない作品の上映希望などもあり、利用者の関心の高さがうかがえました。

初めてバリアフリー映画の上映も行い次年度につながる成果を得られました。

期日：毎月第2・第4土曜日と日曜日に実施。さらに平日(金曜日)に2回実施したところ作品の内容によっては、休日と変わらない利用者が訪れました。

また、3階一般図書と2階児童図書室で、上映会関連本展示コーナーを設置しました。

・「プロジェクト22」一宮城県図書館活用推進事業一

平成16年度にスタートしたプロジェクトで、図書館職員が日々の業務を通して培った知識・技能をもとに、図書館資料、施設を活用して各種の行事を企画、運営するものです。

21年度は6つのグループ(5グループと個人1)で、企画した計画を実施しました。

	テーマ	内 容
A	Web予約導入	予約サービス部門における改善を図るため、Web予約サービス導入に関する課題の整理・規程の改正案・導入時の職員マニュアル・問い合わせ対応の準備・システムの表示の詳細などについて検討し、実現を図りました。
B	レファレンス事例マニュアル作成	日常業務で「よく質問される事例」を取り上げ、マニュアル(「細かいところですが覚えておいてください。(第1～53号)」)を作成職員に配布し、利用者に迅速、確実に情報提供できるようにしました。
C	レファレンス事例公開プラットフォーム構築	「レファレンス事例集」(紙媒体)をWebで公開するための基盤(プラットフォーム)として「標準的なワークフロー」「事例作成のためのガイドライン」を作成し、職員研修を行いました。
D	叡智の杜Webメタデータ作成(PORTA用)	本館貴重資料公開サイト「叡智の杜Web」のより一層の利用拡大を目指して、国立国会図書館ポータルサイト(PORTA)と連携させるために必要な「メタデータ」を作成、平成21年9月から同時公開を実現しました。
E	特別展の企画「THE MANGA」と上映会連動展示	「漫画」から「MANGA」へ移行していく過程を、本館で所蔵している宮城県出身の漫画家の作品を年代順に並べることにより表現し、多くの漫画家を生み出した宮城の魅力を再発見していただくことを目的とした展示を行いました。 上映会連動展示については、5月4日以降の43回の上映会について関連した資料の展示を各フロアで実施しました。
F	特別展「立版古」展の企画	江戸時代中期から大正ごろまで制作されたおもちゃ絵の一種「立版古」。本館が所蔵する立版古とともに実際に職員が制作した完成品・現代のペーパークラフトに関する資料なども展示し、日本の立体的な紙のおもちゃの世界を紹介しました。

「プロジェクト22」における取り組みは、県民の図書館理解を促す機会となりましたが、同時に職員の意識向上、組織の活性化を図る好機ともなりました。

・特別事業「館長講座」

「ヤマトの進出とエミシの抵抗からみたみちのくの歴史再発見」と題して3回にわたり講演しました。

回	日時	内 容	参加人数
1	7月25日(土) (13:30~15:00)	「アテルイ(阿弋流為)とは何者？」 ヤマトの統治に抵抗したエミシの首領であるアテルイの実像は、これまで示された古代歴史の解説や小説ではあいまいであり、中には想像だけが先走って奇をてらったとしか思えないものも出回っている。 宮城県北から岩手県南にかけて残る言い伝えなどに基づき、馬飼いであったことを手がかりとして、新たな角度からその実像に迫る。	89人
2	8月29日(土) (13:30~15:00)	「モウレ(母礼)とは何者？」 アテルイの盟友であるモウレについては、アテルイ以上にあいまいであった。日高見の国に関係する船師であったことを手がかりとして、新たな角度からその実像に迫る。	63人
3	9月26日(土) (13:30~15:00)	「北方進出を急ぐヤマトの意図は何？」 ヤマトによる征夷政策は、その時々で力の入れ方がまったく違っている。 当時の朝鮮半島情勢や遷都政策との関係を手がかりとして、新たな角度からその実像に迫る。	64人

・「みやぎ県民大学開放講座」

平成21年度の「みやぎ県民大学開放講座」(全5講座)は本館職員(個人)が担当し実施しました。
(職員個人4人と顧問1人による自主企画事業)

回	日時	内 容	参加人数
1	11月7日(土)	大和田 順子「辞書の面白さ 再発見」 身近にありながら、じっくり「読む」ことが少ない辞書について、本館所蔵の辞書を利用し、いろいろな角度からその面白さ、奥深さを検証しました。	38人
2	11月14日(土)	洞口 薫子「太宰と歩く魯迅の仙台」 魯迅の仙台留学時代をモデルにした『惜別』を執筆するため、太宰治が来仙しました。その際の取材メモや関係者の随筆をもとに、明治42年・魯迅留学時の仙台と昭和19年・太宰来仙時の仙台を、郷土資料室の所蔵の絵はがきや地図、逐次刊行物所蔵の新聞記事を利用して紹介しました。	44人
3	11月21日(土)	内馬場 みち子「『環海異聞』の物語」 仙台藩蘭学者・大槻玄沢が編纂した漂流記『環海異聞』を取り上げ、暴風雨でロシアに漂着した仙台藩水夫らの足跡と彼らが見聞した18世紀末の西欧文化等を読み解きました。また、水夫の出身地(東松島市)に伝わる遺品や碑などを紹介しました。本館所蔵『環海異聞』(伊達文庫)は県指定有形文化財。	52人

4	11月28日(土)	阿部 毅「宮城県内の災害と地域復興の記録」 戦後宮城県内を襲った顕著な災害の記録をさぐり、その後の地域復興の様子にスポットをあて紹介しました。	28人
5	12月5日(土)	宮城県図書館顧問 伊達 宗弘 「日本の国のかたち」ー歴史や文化の基層を訪ねてー 1,000年以上前から女性が活躍し、庶民が創りあげた文化を持つ世界で唯一の国日本を育んだ、歴史と文化の基層について述べました。	41人

③ 利用しやすい図書館への工夫

a 情報発信の推進

・インターネットによる資料の予約

居住地によらず県民一律のサービス拡充のため、特に予約サービス部門において改善を図るために、インターネットに接続されたパソコン、携帯端末、館内蔵書検索端末から貸出中の図書資料等への予約申込ができる「Web予約サービス」を22年3月から導入しました。開始1か月で500名を超える登録がありました。

・新着図書案内

新着図書に付随する帯を文学・ノンフィクション等に分け掲示し紹介しました。新たに受け入れた本の目録（「新刊図書等のご案内」）を作成し紹介するとともに、ホームページにも掲載しました。（年間40回）
号外として「子どもの森・本のいずみプラス」を発行し、新しく入った児童図書を紹介しました。同じくホームページに掲載しました。

・「私の1冊」展示

毎月、職員による本の紹介（「私の一冊」（年間12回））をしました。利用者の利便性の向上、さらには職員の資料に対する一層の意識の向上につながりました。

期 間	テーマ
平成21年 4月 1日～ 5月 5日	「光とともに」 特別支援教育関係
平成21年 5月 6日～ 5月31日	プロ野球について関連本
平成21年 6月 2日～ 7月 6日	「和田 誠」の本
平成21年 7月 7日～ 8月 3日	アタゴオル ますむら・ひろし詩画集
平成21年 8月 4日～ 9月 7日	一人暮らしを楽しむ 永井荷風の世界
平成21年 9月 8日～10月 5日	「自伝」で生きる 「殴られ屋」
平成21年10月 6日～11月 2日	「ソフトボール」の本
平成21年11月 3日～12月 7日	知られざる天皇・皇族 ～素顔の天皇たち
平成21年12月 8日～12月18日	重 源
平成22年 1月 5日～ 1月29日	私は関ヶ原から
平成22年 2月11日～ 2月28日	文盲 アゴタ・クリストフ自伝
平成22年 3月 2日～ 3月31日	お気に入りの「自助具」を探す

・特設コーナーの設置

テーマ別コーナーを設置し、時の話題や季節などに合わせた展示を実施しました。

3階 一般図書コーナー

期 間	テーマ・紹介資料
平成21年 5月14日 ～ 7月 9日	宮城県ゆかりの文学作品 宮城県にゆかりの深い作家の作品や県内が舞台となった作品を展示
平成21年 7月10日 ～ 9月10日	夏を楽しむ 「花火」「海」「昆虫」「野外での遊び」など夏にまつわる事柄に関する本を展示
平成21年 9月11日 ～11月12日	次は何を読もう 「読書の秋」にちなみ、借りる本を選ぶ際の参考となるブックガイド、書評集、著名人の本棚を紹介した本アンソロジーなどを展示
平成21年10月 1日 ～10月31日	棄損・汚損本の展示 図書館マナーアップキャンペーン期間にちなみ、本を大切に扱うために棄損・汚損本を展示
平成21年11月13日 ～22年 1月 7日	惜別 2009年に他界された方の著作と関連する本を展示
平成22年1月22日 ～ 3月11日	この作家を読む「藤沢 周平」 国民読書年にちなみ、小説家藤沢周平の著作と関連する本を展示
平成22年 3月12日 ～ 5月31日	人と人との『絆』をはぐくむ 出会いの季節にちなみ、コミュニケーション関連の本を展示

2階子ども図書室特集コーナー

月	テーマ	月	テーマ	月	テーマ
4	がっこうだいすき	5	ともだちいっぱい	6	雨とカエル
7	星と海	8	おばけ	9	たべもの
10	スポーツ	11	のりもの	12	クリスマス・お正月
1	おにとまめ	2	ひなまつり	3	はる

1階 視聴覚資料展示コーナー

期 間	テーマ
平成21年 4月 1日 ～ 7月31日	シェイクスピア特集
平成21年 8月 1日 ～ 11月31日	フォルクローレ特集
平成21年12月 1日～22年4月23日	宮城県ゆかりの音楽

・県内施設への視聴覚資料の提供

学校や社会教育施設への視聴覚資料の提供については、受け入れ側との調整（学校関係でいえば授業内容等の関係で視聴覚資料を児童・生徒に見せる時間が取れない等）の問題で、利用促進ができませんでした。

・施設見学の実施

学校や市民グループなどを対象とした施設見学は、それぞれの団体から申し込みを受け、幼稚園1、小学校4、中学校3（中高一貫校1を含む）、高等学校6、大学4、一般11の計29団体、延べ665人を受け入れしました。

・広報活動の推進

宮城県図書館だより『ことばのうみ』は、第31号から第33号まで、3回発行し、一般県民をはじめ県立学校、大学等の関係機関及び全国都道府県図書館等に配布しました。

ホームページについては、逐次情報の更新を行ったほかメールマガジンを毎月発行しました。

月1回発行の子ども図書室だより「子どもの森・本のいずみ」を手作りで発行（128号～139号）しました。号外として「子どもの森・本のいずみプラス」を発行し、新しく入った本を紹介しました。

エフエムいずみ放送の番組「Lady, Go!」に毎月第2木曜日に職員が出演し、施設の利用案内、

主催事業等について広報しました。また、テレビ・ラジオ・新聞等のメディアを利用して随時広報を実施しました。

「ことばのうみ」録音版を音訳ボランティアに依頼して制作し、目の不自由な利用者に貸し出しました。

b 館内表示の工夫

3階一般開架書棚の南側にも配架本の表示を付け、南北両側の通路から配架本が分かるようにしました。

2階児童資料研究室の配架方法を見直し、効率よく出納に対応できるよう整理しました。

1階視聴覚フロアの照明角度を変更し、またフロアマットの一部を明るい色のものに交換するなどして、利用者の視覚的影響を改善しました。

c その他

館内の検索機で検索した資料の出納伝票の文字を太く大きくし、利用者に資料の状態（利用可能・貸出中）が一目でわかるようにしました。

その他、表示以外で利用者のために次のような環境改善を行いました。

ア 館内エントランスに広報用掲示板を設置し、情報提供しました。

イ 人工肛門保有者・人工膀胱保有者対応のトイレの改造を行い、障がい者への利便性を図りました。

ウ 敷地内散策林の倒木の撤去、駐車場のラインの塗装し直しなど環境整備を行いました。

(2) 情報の拠点としての図書館

① 市町村図書館等への支援・連携・協働

a 図書館資料の協力貸出の推進

・市町村図書館・公民館図書室等への支援

県民の求める資料を、住民に身近な市町村図書館等を通じて提供することにしておりますが市町村図書館等への協力貸出資料は24,562冊で、ほぼ前年度並みでした。ほぼ県下全域のかたに利用されています。

b 図書館間の相互協力体制の充実

・資料の長期保存・分担収集等の検討

資料の長期保存は、限りある収蔵スペースに増加をたどる一方の図書資料をいかに長期にわたり収蔵していくかという図書館共通の課題です。このことについて、公共図書館連絡会議で今後協議していくべき課題であるとの共通認識が得られました。

分担収集については、各館のさまざまな事情もありますので、次のステップとして時間をかけて検討協議していきたいと考えております。

・市町村図書館との情報共有

市町村図書館との連携を強化するため、公共図書館連絡会議を2回（5月と11月）開催しました。会議では、資料の長期保存の検討の必要性について共通の認識が得られたほか、宮城県図書館情報ネットワークシステム（MY-NE T）活用方法等についての協議も行いました。会議のほかに、MY-NE Tの掲示板を活用し適時の情報交換を行いました。

協力貸出を迅速に進めるため、MY-NE Tへの加入を推進しておりますが、丸森町立金山図書館、大和町公民館図書室が加わり、参加館は41館（図書館30＋公民館11）となりました。各館でのシステム上の改変や設定変更等に迅速な対応ができたことにより順調な運営ができました。

c 図書館の整備・運営に関する助言

・研修会の開催

市町村図書館及び公民館図書室職員等の資質の向上と専門知識の習得等を図るために、初任者研修会、公共図書館等館長研修会、勤続年数に応じた公共図書館等職員研修会Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ及び公民館図書室担当職員研修会を開催しました。

なお、公共図書館等職員研修会Ⅰは塩竈市「壺番館」を会場としました。

公共図書館等初任者研修会（前期）

期日：平成21年 5月15日（金）（参加者：57人）

講義1：「図書館はこんなところ」 講師：宮城県図書館 佐尾 博基

講義2：「著作権について」 講師：宮城県図書館 田中 亮

講義3・演習：「分類のしくみ」 講師：宮城県図書館 日野 文都

公民館図書室担当職員研修

期日：平成21年 6月19日（金）（参加者：8人）

講義1：「レファレンスについて」 講師：宮城県図書館 田中 亮

講義2：「県図書館の利用について」 講師：宮城県図書館 高橋 智恵

講義3・演習：「修理について」 講師：宮城県図書館 日野 文都

公共図書館等初任者研修会（後期）

期日：平成21年 8月28日（金）（参加者：40人）

講義・演習1：「児童サービスとは何か」 講師：宮城県図書館 岡本 真澄

講義・演習2：「レファレンスサービスの基礎」 講師：宮城県図書館 熊谷 慎一郎

公共図書館等職員研修会Ⅰ

期日：平成21年10月16日（金）（参加者：23人）

講義1：「著作権制度の概要」

講義2：「著作権制度の各論」

講師：放送大学ICT活用・遠隔教育センター教授 尾崎 史郎氏

公共図書館等職員研修会Ⅱ

期日：平成21年11月6日（金）（参加者：20人）

講義1：「障がい者サービスの総論」

講義2：「具体的サービスの紹介・改正著作権法の概要」

演習：「ガイドに挑戦」

講師：埼玉県立久喜図書館 主任司書 佐藤 聖一氏

公共図書館等職員研修会Ⅲ

期日：平成21年12月4日（金）（参加者：31人）

講義：「レファレンス・サービス」

講師：青山学院大学 教育人間科学部 教育学科 教授 小田 光宏氏

公共図書館長等研修会

期日：平成22年 2月18日（金）（参加者：29人）

講義：「地方分権事始めー100年の大計を進めるためにー」 講師：宮城県図書館長 佐藤 明男

・人材の育成

本館職員が、県内市町村図書館等職員に対する研修会の講師を担当できるよう、日頃から司書職員を中心にOJT研修と自己研鑽を積み資質の向上に努めながら、平成21年度も研修の一部の講師を担当しました。

・巡回相談の実施

市町村図書館の運営支援、情報提供のための巡回相談事業は、20館を対象に、各館あたり年間2回の巡回をしました。4月には第1回目の巡回相談を実施し、各館の職員体制、重点事業などの最新情報を収集し、10月は市町村図書館の地域内で刊行された資料の取扱いやレファレンス業務の位置づけなどに関する情報交換を行いました。

② いつでもどこでもサービスを受けられる体制の充実

a 図書館情報ネットワークシステム（MY-NE T）の整備

・宮城県内図書館総合目録（横断検索）

宮城県内図書館総合目録（横断検索）については、当館のみならず県内の公共図書館・公民館図書室で活用され、レファレンスサービスや図書館間の資料の相互貸借業務の効率化に寄与しているほか、一般の利用者にも公開し、資料検索の利便性向上に寄与しています。

市町村で導入する図書館システムは多様なことから、常にシステム更新に関する情報収集を行い、速やかに参加館のシステム更新に対応して、安定運用を図ることができました。

また、総合目録へは県内25館が参加しておりますが、未参加の公共図書館へ参加の働きかけを行った結果、平成22年度に新たに3館が参加することになりました。これにより総合目録システムはさらに有用なものとなります。

このほか、県内の公共図書館が当該年度に受け入れることとした新聞・雑誌購入リストを作成・配布して、各館でレファレンスを実施する際に有用な情報として活用されています。

このように総合目録システム、新聞・雑誌購入リストとも、当館のみならず県内の公共図書館・公民館図書室で活用され、図書館間の資料の相互貸借業務の効率化に寄与しています。

・次期システムの検討

現行の図書館情報ネットワークシステムは、平成19年度に更新し5か年の運用を予定しています。平成24年度に予定している次期システムの更新に向けた検討を、館全体で取り組むため体制の整備を図りました。

b 障がい者サービスの充実

・郵送による貸出・返却サービス

郵送による貸出・返却サービスは、ホームページ等での広報や新規登録時の呼びかけを行い、新たに29人を加え現在531人の登録数となっています。登録者への貸出・返却業務は迅速に処理することができました。

一般図書の郵送貸出は、年間432件1,304冊、点字雑誌の貸出利用は51件126冊、朗読テープ、ビデオテープ、CD及びDVD等の郵送貸出数は431件1,383点でした。

・録音図書、字幕・手話付きビデオ資料等の目録整備

録音図書、字幕・音声解説付きビデオ資料等整備については、計画的な整備に努めました。利用促進については、バリアフリー映画の上映を初めて行いPRに努めました。

・大活字本の収集

大活字本については、積極的に購入するように努め、21年度は102冊購入しました。

・障がい者サービス担当者の育成

担当班内での職場研修（OJT）や市町村職員対象に実施した研修会（「障がい者サービス」及び「著作権」）への参加などにより、担当者の職務能力の向上に努めました。

・音訳サービス

新聞のコラム、川柳、経済指標、テレビ・ラジオ欄、将棋および週刊誌の記事の電話音訳が延べ226人（前年度比48人増）に行いました。

「ことばのうみ」録音版を音訳ボランティアに依頼して制作、目の不自由な利用者に貸し出しました。

雑誌の記事を選んで音訳ボランティアに依頼して制作している「声の情報誌」を目の不自由な方に対して貸し出しました。

そのほか、プライベートサービスとして目の不自由な利用者に音訳テープの作成、電話音訳を実施しました。

③ 調査・研究に役立つ機能の充実

a 調査・研究に役立つ資料の収集

課題解決に役立つ県内の施設の紹介

県民が調査・研究に利用できる全国公共図書館や大学図書館など類縁機関の「資料検索ツ-

ル」を本館ホームページのトップページで紹介しています。各関係機関へのリンクを設定し、利用者自身が検索を行い、資料調査、所蔵館情報などにアクセスできる環境を整備しています。

b レファレンス事例の作成・公開

「宮城県図書館におけるレファレンス事例公開事業実施計画」(平成21年3月策定)に基づき、レファレンス事例について、平成21年4月から本館ホームページ及び国立国会図書館「レファレンス協同データベース」での一般公開を開始しました。本館では隔週2件ずつ更新し計46件を公開しました。国立国会図書館には計208件を登録、公開しました。公開事例の編集にあたっては「レファレンス事例編集ガイドライン(第1版)」を作成して、職員研修を実施しました。

また、利用者の調査依頼に迅速に対応するために、職員向けに資料検索ツールや辞典類の使い方などの解説書『調べ方マニュアル/細かいところですが覚えておいてください(全53号)』を作成し、利用者対応に役立てました。

(3) 次世代を育成する図書館

① 郷土関係資料の維持・充実

a 宮城に関する資料の収集と整備

・宮城に関する資料の収集

郷土関係資料は主題(テーマ)による収集を計画的に進め、平成21年度は1,308冊を整理し、利用者に提供しました。

重点テーマとして『セントラル自動車社史』など「自動車産業関係資料」、「地震・津波関係資料」などを収集しました。貴重な郷土の映像資料「宮城県政ニュース」(VHSビデオテープ)をデジタル化(DVD化)する、デジタルアーカイブ事業を継続して行いました。平成21年度までで全64点のデジタルアーカイブを終了しました。今後は、その他の貴重な郷土資料について継続して取り組み、資料の保存・活用に努めてまいります。

・郷土関係論文データベースの充実

「郷土関係論文目録データベース」に目録情報を登録し、ホームページで公開しています。平成21年度は1,318件の目録データを登録し、総データ数2万5千件を超えました。平成21年度緊急雇用創出事業を活用し、『宮城県郷土資料件名標目表』と『同冊子目録』(宮城県図書館1992年刊)の電子情報化を行いました。

同じく、『宮城県図書館和古書目録』(1991年)、『宮城県図書館所蔵 絵図・地図解説目録』(1993年)など古典籍冊子目録計4冊も電子情報化しました。

b 宮城県の行政資料収集と行政課題に関する情報提供

・行政資料の収集

宮城県に関する行政資料184タイトルを収集し、総タイトル数1,984を整備しています。特に、県内市町村発行の地震災害関係資料や防災関係資料の収集に努めました。

「自動車産業関連資料」として、社史や専門紙等の収集、整備に努めました。

・県職員向けの情報発信

県庁各担当からの問い合わせには、資料調査を行い、情報提供を行いました。

② 子どもの読書環境の充実

a 読書環境の整備充実

・新刊児童図書の紹介

第39回子どもの本展示会を4月18日から29日まで開催し、延べ701人の入場者がありました。

開催期間	会場	入場者数
4月18日(土)～4月29日(水)	ホール養賢堂	延べ 701人

・子どもの本移動展示会(県内市町村図書館向け)の開催

県内公共図書館・公民館図書室への移動展示会を行い、21会場で延べ5,129人の入場者がありました。

・子どもの本移動展示会(県内小学校向け)の開催

小学校への移動展示会は、仙台市を除く希望校80校で開催し、入場者は13,470人ありました。

・児童資料の充実

児童資料については、新刊図書を中心に発達段階や各分野にわたり収集しました。

冊数や心に残る本を記録する「ブックツリーカード」（読書記録カード）を配布しました。

利用者から「おすすめの本1冊」を募集、子ども図書室に掲示紹介をしました。

・児童図書サービス担当者の育成

毎月1回、職員による「読み聞かせ会」を実施し、担当職員の技能向上に努めました。

b 読書活動の理解の促進

・各種事業の実施

おはなし会・紙芝居上演会

「おはなし会」などをボランティアの協力も得て定期的開催し（88回）、多くの参加があり読書への関心を高めました。図書館へ足を運ぶ契機となり、親子で本に親しむ機会ともなっており、十分な効果が上げられました。

・「子どもの森・本のいずみ」の発行

月1回発行の子ども図書室だより「子どもの森・本のいずみ」を手作りで発行（128号～139号）しました。また、号外として「子どもの森・本のいずみプラス」を発行し、新しく入った本を紹介しました。来館者及び県内図書館等に配布し、ホームページにも掲載しました。毎月購入した資料を確認できるため、子どもたちの読書への意欲を喚起できました。

・テーマ展示（再掲）

毎月のテーマを選び、関連する本を展示しました。

子供図書室特集コーナー（テーマ展示）

月	テーマ	月	テーマ	月	テーマ
4	がっこうだいすき	5	ともだちいっぱい	6	雨とカエル
7	星と海	8	おばけ	9	たべもの
10	スポーツ	11	のりもの	12	クリスマス・お正月
1	おにとまめ	2	ひなまつり	3	はる

・総合的な学習への支援

「調べ学習」や「職場体験」を積極的に受け入れ、図書館資料を効果的に活用させたり、図書館業務を体験させることにより、子どもたちの総合的な学習の支援ができました。

学校からの文書による申請があった「調べ学習」は、中学校1、高等学校1、延べ11人の利用がありました。

また、「職場体験学習」は、中学校4、高等学校は2、延べ17人の受入をしました。

③ 「宮城県図書館次世代育成プロジェクト」の推進

22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業について

この事業は、宮城県図書館に継承された知の集積を活用し、次代を担う人たちに自信と誇りをもって語れるふるさとや日本の歴史や文化をしっかりと伝えていこうとする、平成16年度より進めている総合戦略プロジェクトです。

「貴重資料修復保存」と「次世代育成プロジェクト」の2つの部門で構成しています。「貴重資料修復保存」は貴重資料の体系的学術調査、修復保存、デジタル画像や複製資料の作成が主な内容です。

「次世代育成プロジェクト」は、図書館の知的財産、人的資源を人材育成に活用しようとするもので、複製資料の高等学校等への貸し出し、貴重資料の展示会、子どもの本展示会、プロジェクト22などが主な内容となっております。

a 図書館の知的財産の活用

・複製資料の貸出

本館貴重資料の複製資料を、県内高等学校、市町村図書館等に貸し出し授業や展示会で活

用するものです。

高等学校には4校に貸し出し、米山高等学校、黒川高等学校では文化祭など学校行事で活用され、美里町近代文学館では、『魚蟲譜』等レプリカの展示会を開催しました。

貴重資料の複製資料のほか『源氏物語絵巻』『枕草子』等、古典文学複製資料を、平成21年度は、富谷高等学校、涌谷高等学校など13校と、塩竈市民図書館など2施設に貸し出しました。

『東海道五十三次』、『浮世絵聚花名作選』など、浮世絵の複製資料を、平成21年度は、県立高校では河南高等学校、古川黎明高等学校など2校と石巻市教育委員会に貸し出しました。

・貴重資料の専門調査の実施

平成21年度（第7次調査）は、専門調査員3人により、延べ8日間実施しました。『国絵図』関係資料については2月24日・25日に、専門調査員の佐々木利和氏（前文化庁主任文化財調査官）、川村博忠氏（元山口大学教授）、鶴飼幸子氏（仙台市史編纂室長）による合同調査を実施し、修復事業の進め方、方針、目録作成など今後の進め方について指導を受けました。

・貴重資料の保存修復

平成21年度は「国絵図」の中から『陸奥国仙台領際絵図 出羽国米沢領之方』『同 出羽国新庄領之方』（計2舗）を修復しました。資料的価値を損なうことなく後世に伝えることができました。古典籍の利用者用代替資料（マイクロフィルム）の劣化に対応するため、再整備事業を実施しました。平成21年度は『奥道中歌』『仙台領古城』など地誌関係の古典籍マイクロフィルム52本を複製し、7本にまとめて収録しました。これを利用することで適切な資料提供が確保されました。

・企画展示会の開催

特別展としては「地図～世界を規定する試み～」(平成21年3月7日～6月28日)、「THE MANGA～みやぎが生んだヒーローたち～」(平成21年11月19日～平成22年2月27日)及び「立版古～江戸・明治の飛び出す錦絵～」(平成22年3月13日～平成22年6月30日)の計3回本館展示室で開催しました。

「地図～世界を規定する試み～」では、修復が完了した『遠田郡桃生郡境塚図』と修復前の『陸奥国仙台領際絵図 出羽国米沢領之方』『同 出羽国新庄領之方』（計2舗）をも展示しました。

常設展は国・県の文化財指定を受けた貴重資料を「きらめく叡智と美のしづく展」シリーズとして展示しています。平成21年度は第9回目として「宮城の貴重書（レプリカ展）」を本館展示室で7月4日（土）から11月10日（火）まで開催し、17世紀初頭の世界地図『坤輿万国全図』（国指定重要文化財）、江戸博物学の精華と評される『禽譜』（鳥類図鑑・県指定有形文化財）『魚蟲譜』（魚類図鑑・同）のレプリカを展示しました。

特別展

回	開催期間	タイトル
1	平成21年3月7日(土) ～6月28日(日)	「地図～世界を規定する試み～」
2	平成21年11月19日(木) ～平成22年2月27日(土)	「THE MANGA～みやぎが生んだヒーローたち～」
3	平成22年3月13日(土) ～平成22年6月30日(火)	「立版古～江戸・明治の飛び出す錦絵～」

常設展

回	開催期間	タイトル
1	平成21年7月4日(土) ～10月31日(土)	「きらめく叡智と美のしづく みやぎの貴重書レプリカ展」

・貴重資料のデジタル画像の公開

「貴重資料修復保存事業」の成果と意義、及び貴重資料の価値を広く県民に公開することを目的に、本館ホームページ「叡智の杜Web」でデジタルデータを公開しています。本館「叡智の杜Web」は平成21年9月から、国立国会図書館デジタルアーカイブポータル（PORTA）において同時公開を開始しました。

・子どもの本移動展示会（県内市町村図書館・小学校向け）の開催（再掲）

現在、本県では子ども読書活動推進計画を実施しており、同計画の趣旨を踏まえ、次代を担う子どもと本との出会いの機会を、より多くつくる試みです。

平成21年度は、市町村図書館、公民館図書室では計21館で開催され、入場者数は5,129人ありました。

小学校への移動展示会は、仙台市を除く希望校80校で開催、入場者は13,470人ありました。多くの学校から次年度以降も開催を望む声が寄せられています。

b 図書館の人的資源の活用

・『プロジェクト 22』一宮城県図書館活用推進事業一の展開（再掲）

平成18年度にスタートしたプロジェクトで、図書館職員が日々の業務を通して培った知識・技能をもとに、図書館資料、施設を活用して各種の行事を企画、運営するものです。

21年度は6つのグループ（5グループと個人1）で、企画した計画を実施しました。

・特別事業「館長講座」（再掲）

「ヤマトの進出とエミシの抵抗からみたみちのくの歴史再発見」と題して3回にわたり講演しました。

・「みやぎ県民大学開放講座」（再掲）

平成21年度の「みやぎ県民大学開放講座」（全5講座）は本館職員（個人）が担当し実施しました。（職員個人4人と顧問1人による自主企画事業）

・総合的な学習への支援（再掲）

「調べ学習」や「職場体験」を積極的に受け入れ、図書館資料を効果的に活用させたり、図書館業務を体験させることにより、子どもたちの総合的な学習の支援ができました。

学校からの文書による申請があった「調べ学習」は、中学校1校、高等学校1校、延べ11人の利用がありました。

また、「職場体験学習」は、中学校4校、高等学校は2校、延べ17人の受入をしました。

・施設見学の実施（再掲）

学校や市民グループなどを対象とした施設見学は、それぞれの団体から申し込みを受け、幼稚園 1、小学校 4、中学校 3、（中高一貫校1校を含む）高等学校 6、支援学校 1（2回）、大学 3、一般10団体の計29団体に実施しました。

平成21年度は、迫桜高等学校の教員と図書委員の生徒計24人、米山高等学校の教員と図書委員計26人ほか、県外からは福島県立会津高等学校図書委員の生徒と教員計18人など29団体、計 665人が閉架書庫などを見学し、本館資料と機能についての理解を深めました。

・「図書館親子ツアー」

「図書館親子ツアー」を夏休み中の子どもたちを対象に 2回実施しました。

回	日時	内 容	参加人数
1	8月6日（木）	閉架書庫の案内、所蔵資料の紹介	親子 8組 （計 19人）
2	8月8日（土）		親子 8組 （計 20人）

4 平成21年度宮城県図書館協議会

(1) 設置根拠

図書館の運営に関しての館長の諮問に応じるとともに、図書館の奉仕活動について意見を述べる機関として設置されている（宮城県図書館協議会設置条例）。

- (2) 委員数
- | | |
|-----|-----|
| 会長 | 1人 |
| 副会長 | 1人 |
| 委員 | 8人 |
| 計 | 10人 |

第29次宮城県図書館協議会委員

(任期：平成20年3月1日～平成22年2月28日) 平成22年2月28日現在

区分	氏名	役職名
会長	澤井 清	宮城学院女子大学 教授
副会長	野家 啓一	東北大学理事・附属図書館長
委員	遠藤 幸生	宮城県佐沼高等学校 校長
委員	大島 真理	東北福祉大学 准教授
委員	齋藤 弘子	宮城テレビ番組審議会委員
委員	小島 四郎	仙台市民図書館 館長
委員	千葉 啓子	風のアトリエ (自営)
委員	千葉 由香	(有) 荒蝦夷 取締役
委員	寺島 英弥	(株) 河北新報 編集局生活文化部長
委員	平間 啓子	白石市役所 市民課 課長

(3) 開催状況

第1回 平成21年6月25日 (木)

- 報告事項 (1) 平成20年度事業の実績について
(2) 平成21年度予算及び事業計画について

第2回 平成22年2月25日 (木)

- 報告事項 平成21年度事業実施状況について
協議事項 宮城県図書館の自己評価の実施について

(4) 平成21年度宮城県公共図書館協議会連合会代表者会議

- ・情報交換資料の作成、配布により代替施行
- (内容) 参加協議会の活動状況報告
- その他情報交換

5 平成 21 年度図書館資料利用状況等 (統計)

(1) 受入資料一覧表 図書・視聴覚資料 (現在高 = 平成22年3月末の蔵書数)

区分	購入	寄贈	その他	合計	除籍等	引増減	現在高
一般図書	7,242	1,477	192	8,911	1,154	7,757	667,169
洋書	5	34		39	5	34	17,072
ハンゲル資料		3	774	777		777	2,076
中国書				0	5	-5	5,790
一般図書等 小計	7,247	1,514	966	9,727	1,164	8,563	692,107
貸出用児童書	2,368	60	36	2,464	2,226	238	64,635
保存用児童書	2,387	53	24	2,464	409	2,055	91,791
貸出用紙芝居	5	1		6		6	848
街頭紙芝居				0			5,333
教育紙芝居				0			1,473
児童資料 小計	4,760	114	60	4,934	2,635	2,299	164,080
郷土資料	365	943		1,308	8	1,300	58,485
和古書				0			38,417
漢籍				0			18,886
地図資料				0			9,624
電子図書				0			922
マイクロフィルム	137	2		139		139	16,836
郷土資料等 小計	502	945	0	1,447	8	1,439	143,170
館外用図書				0		0	3,590
図書資料小計	12,509	2,573	1,026	16,108	3,807	12,301	1,002,947
16mmフィルム				0			1,683
録画テープ(Uマチック)				0			24
録画テープ(ベータ)				0			30
録画テープ(VHS)			3	3	727	-724	13,552
8mmフィルム				0			18
CD-ROM(主に映像)				0			341
レコード				0			1,320
コンパクトディスク	79	66	2	147	256	-109	16,236
楽譜	33	9	3	45	947	-902	9,791
レーザーディスク				0		0	950
DVDビデオ	234	55	47	336	6	330	2,682
カセットテープ	34			34	86	-52	4,617
オープンリールテープ				0		0	773
スライドフィルム				0		0	1,174
ELIB	9		57	66		66	99
視聴覚資料小計	389	130	112	631	2,022	-1,391	53,290
総計	12,898	2,703	1,138	16,739	5,829	10,910	1,056,237

逐次刊行物

区 分	配架場所	所蔵タイトル数	うち年間受入タイトル数			
			うち購入	うち寄贈他	うち外国語	
雑 誌 (紀要を含む)	新聞雑誌室	9,504種	1,672種	390種	1,282種	12種
	みやぎ資料室	2,648種	558種	13種	545種	
	子ども図書室	189種	33種	16種	17種	
	小 計	12,341種	2,263種	419種	1,844種	12種
年鑑・年報	新聞雑誌室	3,176種	594種	233種	361種	
	子ども図書室	21種	3種	1種	2種	
	小 計	3,197種	597種	234種	363種	
行政資料	新聞雑誌室	2,704種	318種	140種	178種	
	みやぎ資料室	1,984種	184種	2種	182種	
	小 計	4,688種	502種	142種	360種	
新 聞	新聞雑誌室	657種	80種	53種	27種	1種
	みやぎ資料室	198種	9種	0種	9種	
	子ども図書室	4種	1種	1種	0種	
	小 計	859種	90種	54種	36種	1種
計		21,085種	3,452種	849種	2,603種	13種
前年度		19,513種	3,528種	893種	2,635種	20種

*子ども図書室には児童資料研究・相談室分を含む

(2)開館日数・入館者数・個人貸出冊数・調査相談件数

	開館日数	入館者数	1日平均 入館者数	個人貸出 冊数	1日平均 貸出冊数	調査相談 件数
平成21年 4月	26日	41,032人	1,578人	74,493冊	2,865冊	2,576件
5月	27日	45,366人	1,680人	82,222冊	3,045冊	2,946件
6月	25日	42,851人	1,714人	74,939冊	2,998冊	2,538件
7月	27日	47,980人	1,777人	85,213冊	3,156冊	3,177件
8月	26日	50,969人	1,960人	88,206冊	3,393冊	3,097件
9月	26日	44,558人	1,714人	75,839冊	2,917冊	2,702件
10月	27日	43,192人	1,600人	77,012冊	2,852冊	2,739件
11月	25日	40,614人	1,625人	76,967冊	3,079冊	2,819件
12月	24日	35,822人	1,493人	70,038冊	2,918冊	2,486件
平成22年 1月	21日	37,185人	1,771人	69,078冊	3,289冊	2,869件
2月	16日	27,352人	1,710人	53,520冊	3,345冊	2,278件
3月	26日	39,580人	1,522人	75,548冊	2,906冊	2,993件
合 計	296日	496,501人	1,677人	903,075冊	3,051冊	33,220件
前年度合計	295日	515,369人	1,747人	927,948冊	3,146冊	34,785件
増 減	+1日	- 18,868人	- 70人	- 24,873冊	- 95冊	- 1,565件

個人貸出数の居住市町村別内訳(平成21年度分で構成比の多い順)

	平成20年度		平成21年度		
	貸出冊数	構成比	貸出冊数	構成比	
仙台市	729,734人	78.6%	705,159人	78.1%	
(内訳)	青葉区	214,552冊	23.1%	204,495冊	22.7%
	宮城野区	27,223冊	2.9%	27,734冊	3.1%
	若林区	7,767冊	0.8%	7,442冊	0.8%
	太白区	20,745冊	2.2%	20,237冊	2.2%
	泉区	459,447冊	49.5%	445,251冊	49.3%
富谷町	101,885冊	11.0%	102,976冊	11.4%	
大和町	28,335冊	3.1%	30,108冊	3.3%	
大崎市	12,875冊	1.4%	12,496冊	1.4%	
利府町	11,821冊	1.3%	11,059冊	1.2%	
多賀城市	5,459冊	0.6%	4,585冊	0.5%	
塩竈市	4,024冊	0.4%	4,050冊	0.5%	
名取市	4,128冊	0.4%	3,548冊	0.4%	
その他	29,687冊	3.2%	29,094冊	3.2%	
合計	927,948冊	100.0%	903,075冊	100.0%	

(3)利用登録者数

	21年3月末現在	22年3月末現在
利用登録者数	243,745人	251,682人
対前年比	+ 8,540人	+ 7,937人
新規登録者数	9,237人	7,991人

* 対前年比には、新規登録による増加のほか、県外転居等による減少を含む

居住市町村別内訳(平成21年度分で構成比の多い順)

	21年3月末現在		22年3月末現在		
	登録者数	構成比	登録者数	構成比	
仙台市	186,269人	76.4%	191,754人	76.2%	
(内訳)	青葉区	60,240人	24.7%	61,986人	24.6%
	宮城野区	17,760人	7.3%	18,058人	7.2%
	若林区	7,796人	3.2%	7,906人	3.1%
	太白区	17,115人	7.0%	17,388人	7.0%
	泉区	83,358人	34.2%	86,416人	34.3%
富谷町	16,147人	6.6%	17,298人	6.9%	
大和町	5,702人	2.3%	5,976人	2.4%	
大崎市	5,062人	2.1%	5,250人	2.1%	
利府町	4,405人	1.8%	4,579人	1.8%	
多賀城市	3,844人	1.6%	3,938人	1.5%	
名取市	3,576人	1.5%	3,646人	1.4%	
塩竈市	2,686人	1.1%	2,751人	1.1%	
その他	16,054人	6.6%	16,490人	6.6%	
合計	243,745人	100.0%	251,682人	100.0%	

(4) 分類別蔵書冊数及び個人貸出冊数

分類	一般図書										外国語資料	郷土資料	児童資料	視聴覚資料	その他	計	
	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学							未分類他
蔵書冊数	28,312	36,376	75,936	124,328	46,714	45,185	27,946	59,674	12,476	170,804	2,360	24,938	115,788	164,080	53,230	68,230	1,056,237
構成比*1	2.7%	3.4%	7.2%	11.8%	4.4%	4.3%	2.6%	5.6%	1.2%	16.2%	0.2%	2.4%	11.0%	15.5%	5.0%	6.5%	100.0%
構成比*2	4.5%	5.8%	12.1%	19.8%	7.4%	7.2%	4.5%	9.5%	2.0%	27.2%							100.0%
前年度計	27,805	36,063	74,885	122,776	46,033	44,561	27,541	58,916	12,356	168,194	2,698	24,130	115,071	164,377	54,681	65,240	1,045,327
増減	507	313	1,051	1,552	681	624	405	758	120	2,410	-338	808	717	-297	-1,391	2,990	10,910

分類	一般図書										外国語資料	郷土資料	児童資料	視聴覚資料	その他	計	
	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学							未分類他
21年4月	676	2,042	3,013	4,652	2,893	3,797	1,666	3,785	693	15,143	6,053	99		15,808	14,173		74,493
5月	674	2,201	3,101	5,130	3,236	4,168	1,989	4,372	783	16,593	6,897	109		17,420	15,549		82,222
6月	664	2,120	2,919	4,542	2,970	3,814	1,819	3,899	651	14,847	6,135	112		16,372	14,075		74,939
7月	665	2,140	3,369	4,982	3,331	4,180	1,772	4,271	712	16,111	7,012	120		21,966	14,582		85,213
8月	684	2,083	3,508	5,085	3,480	4,079	1,761	4,287	687	16,709	7,160	86		23,736	14,861		88,206
9月	625	2,086	3,096	4,663	2,960	3,781	1,572	3,815	686	15,134	6,785	108		16,733	13,795		75,839
10月	740	2,248	3,177	4,526	2,752	3,840	1,619	4,098	637	15,508	6,458	190		17,471	13,748		77,012
11月	649	2,078	3,110	4,651	2,842	3,781	1,574	3,755	646	15,197	6,540	172		18,131	13,841		76,967
12月	634	1,937	2,809	4,542	2,624	3,543	1,505	3,505	538	14,614	5,817	143		15,269	12,558		70,038
22年1月	602	1,967	2,947	4,360	2,666	3,443	1,413	3,498	540	14,121	5,783	162		15,329	12,247		69,078
2月	404	1,451	2,209	3,109	1,956	2,604	1,100	2,630	419	10,895	4,484	140		12,673	9,446		53,520
3月	631	2,155	3,363	4,305	2,730	3,657	1,567	3,808	645	15,491	6,279	150		17,317	13,450		75,548
年度計	7,648	24,508	36,621	54,547	34,440	44,687	19,357	45,723	7,637	180,363	75,403	1,591	-	208,225	162,325	-	903,075
構成比*1	0.8%	2.7%	4.1%	6.0%	3.8%	4.9%	2.1%	5.1%	0.8%	20.0%	8.3%	0.2%		23.1%	18.0%		100.0%
構成比*2	1.7%	5.4%	8.0%	12.0%	7.6%	9.8%	4.2%	10.0%	1.7%	39.6%							100.0%
前年度計	8,645	26,112	39,268	60,021	35,665	48,268	19,943	47,941	8,200	180,952	65,269	1,263	-	211,524	174,867	-	927,948
増減	-997	-1,604	-2,647	-5,474	-1,225	-3,581	-586	-2,218	-563	-599	10,134	328		-3,299	-12,542		-24,873

構成比*1：対総数での構成比を算出したもの
構成比*2：一般図書のうちNDC分類付と済みの資料内での構成比を算出したもの

(5) 古書閲覧及び特別利用

		特別利用												
		特別貸出	撮影	出版	掲載	翻刻	ビデオ	放送	装飾	計				
21年 4月	利用件数	10件												
	利用冊数	44冊	0件		4件					5件				
5月	利用件数	5件	0冊		4冊					7件				
	利用冊数	20冊	0冊		4冊	1冊				7件				
6月	利用件数	6件	1件		1冊					3件				
	利用冊数	23冊	163冊		1冊					3件				
7月	利用件数	4件	2件		5件					10件				
	利用冊数	8冊	7冊		10冊					25冊				
8月	利用件数	7件	0件		0件			2件		2件				
	利用冊数	295冊	0冊		0冊			11冊		2件				
9月	利用件数	7件	0件		0件			1件		1件				
	利用冊数	115冊	0冊		0冊			1冊		1件				
10月	利用件数	6件	0件		10件					19件				
	利用冊数	120冊	0冊		14冊			2件		5件				
11月	利用件数	12件	0件		3件					5件				
	利用冊数	674冊	0冊		3冊			2冊		5冊				
12月	利用件数	4件	0件		25件	1件		3件		40件				
	利用冊数	12冊	0冊		29冊	1冊		3冊		52冊				
22年 1月	利用件数	5件	2件		10件					14件				
	利用冊数	24冊	30冊		10冊					42冊				
2月	利用件数	4件	0件		16件					17件				
	利用冊数	6冊	0冊		18冊					24冊				
3月	利用件数	6件	2件		7件			2件		13件				
	利用冊数	47冊	2冊		9冊			2冊		15冊				
計	利用件数	76件	7件	0件	85件	2件	0件	10件	0件	136件				
	利用冊数	1,388冊	202冊	0冊	105冊	2冊	0冊	19冊	0冊	411冊				
前年度計	利用件数	256件	9件	0件	58件	0件	0件	7件	0件	90件				
	利用冊数	2,488冊	242冊	0冊	280冊	0冊	0冊	9冊	0冊	910冊				

(6) 調査相談の利用

	電話	文書	E-mail	口頭	その他	計
21年 4月	281件	8件	9件	2,278件	0件	2,576件
5月	301件	3件	13件	2,629件	0件	2,946件
6月	292件	11件	8件	2,227件	0件	2,538件
7月	258件	17件	14件	2,888件	0件	3,177件
8月	272件	19件	12件	2,794件	0件	3,097件
9月	279件	18件	14件	2,391件	0件	2,702件
10月	282件	18件	15件	2,424件	0件	2,739件
11月	260件	7件	15件	2,537件	0件	2,819件
12月	240件	8件	19件	2,219件	0件	2,486件
22年 1月	232件	7件	12件	2,618件	0件	2,869件
2月	191件	4件	21件	2,061件	1件	2,278件
3月	251件	6件	17件	2,719件	0件	2,993件
計	3,139件	126件	169件	29,785件	1件	33,220件
前年度計	3,596件	124件	245件	30,799件	21件	34,785件

(7) 文献複写及び撮影の利用

複写分 ○種類別枚数

種別		枚数
電子複写	白黒	134,497 (144,153)
	カラー	505 (410)
マイクロフィルム		28,460 (12,544)
計		163,462 (157,107)
月平均		13,622 (13,092)

○受付窓口別枚数

窓口	枚数
一般図書 カウンター	18,751 (22,724)
調査相談 カウンター	19,561 (21,033)
新聞雑誌室	64,693 (52,077)
みやぎ資料室	60,457 (61,273)
計	163,462 (157,107)

撮影分

写真撮影	1,533 (15,262)
------	-------------------

※()内は、前年度

(8)図書館間の相互協力

協力貸出冊数

図書館名	20年度	21年度
仙台市民	1,137冊	857冊
仙台市広瀬	178冊	146冊
仙台市宮城野	343冊	291冊
仙台市榴岡	178冊	202冊
仙台市若林	372冊	328冊
仙台市太白	729冊	582冊
仙台市泉	429冊	594冊
石巻市	738冊	839冊
塩竈市	706冊	593冊
気仙沼市	485冊	470冊
本吉町	295冊	260冊
白石市	382冊	622冊
名取市	1,299冊	1,129冊
角田市	536冊	678冊
多賀城市	1,095冊	931冊
岩沼市	456冊	555冊
登米市迫	562冊	748冊
登米市登米	154冊	162冊

図書館名	20年度	21年度
栗原市	1,051冊	837冊
東松島市	432冊	544冊
大崎市	1,164冊	981冊
蔵王町	945冊	905冊
丸森町	73冊	33冊
亶理町	646冊	612冊
利府町	1,014冊	975冊
加美町中新田	395冊	364冊
加美町小野田	567冊	752冊
美里町小牛田	1,564冊	1,371冊
美里町南郷	286冊	152冊
南三陸町	548冊	380冊
小計	18,759冊	17,893冊
公民館図書室等	5,871冊	6,669冊
県内貸出計	24,630冊	24,562冊
県外図書館等	1,388冊	1,172冊
合計	26,018冊	25,734冊

協力貸出冊数(県外図書館等内訳)

都道府県	20年度	21年度
北海道	176冊	305冊
青森	118冊	112冊
岩手	124冊	194冊
秋田	54冊	92冊
山形	304冊	132冊
福島	153冊	87冊
茨城	10冊	11冊
栃木	7冊	4冊
群馬	3冊	8冊
埼玉	26冊	25冊
千葉	26冊	32冊
東京	22冊	9冊
神奈川	4冊	8冊
新潟	10冊	17冊
山梨	2冊	3冊
長野	3冊	0冊
静岡	8冊	6冊
富山	3冊	5冊
石川	4冊	1冊
福井	5冊	1冊
岐阜	1冊	1冊
愛知	25冊	19冊
三重	179冊	27冊

都道府県	20年度	21年度
滋賀	9冊	10冊
京都	11冊	9冊
大阪	5冊	13冊
兵庫	2冊	3冊
奈良	4冊	2冊
和歌山	2冊	0冊
鳥取	4冊	3冊
島根	2冊	0冊
岡山	37冊	7冊
広島	2冊	1冊
山口	3冊	0冊
徳島	2冊	0冊
香川	13冊	2冊
愛媛	6冊	5冊
高知	5冊	0冊
福岡	3冊	2冊
佐賀	3冊	1冊
長崎	0冊	11冊
熊本	2冊	0冊
大分	2冊	0冊
宮崎	3冊	2冊
鹿児島	0冊	0冊
沖縄	1冊	2冊
計	1,388冊	1,172冊

月別相互貸借冊数・文献複写件数・協力レファレンス件数

	貸出冊数			借受冊数			文献複写受付件数			文献複写依頼件数			協力レファレンス受付数			
	県内へ	県外へ	計	県内から	県外から	国会から	県内から	県外から	計	県内へ	県外へ	国会へ	計	県内から	県外から	計
21年 4月	2,068冊	108冊	2,176冊	63冊	13冊	4冊	80冊	6件	30件	0件	9件	36件	0件	15件	5件	20件
5月	1,953冊	111冊	2,064冊	39冊	4冊	0冊	43冊	1件	25件	0件	11件	26件	0件	10件	8件	18件
6月	2,061冊	96冊	2,157冊	0冊	19冊	0冊	19冊	0件	8件	1件	31件	8件	1件	11件	5件	16件
7月	2,140冊	109冊	2,249冊	66冊	17冊	0冊	83冊	1件	13件	0件	41件	14件	0件	10件	3件	13件
8月	1,902冊	75冊	1,977冊	71冊	22冊	3冊	96冊	2件	26件	0件	130件	28件	0件	11件	5件	16件
9月	2,128冊	84冊	2,212冊	66冊	25冊	1冊	92冊	41件	12件	0件	13件	53件	0件	9件	2件	11件
10月	2,317冊	108冊	2,425冊	91冊	22冊	2冊	115冊	3件	24件	0件	29件	27件	0件	4件	3件	7件
11月	1,922冊	147冊	2,069冊	73冊	10冊	0冊	83冊	1件	32件	0件	10件	33件	0件	8件	4件	12件
12月	1,982冊	63冊	2,045冊	60冊	9冊	0冊	69冊	0件	14件	0件	5件	14件	0件	2件	3件	5件
22年 1月	2,236冊	82冊	2,318冊	45冊	5冊	0冊	50冊	0件	0件	0件	1件	0件	0件	4件	4件	8件
2月	2,006冊	93冊	2,099冊	70冊	14冊	2冊	86冊	0件	13件	0件	0件	13件	0件	5件	1件	6件
3月	1,847冊	96冊	1,943冊	106冊	12冊	0冊	118冊	10件	48件	2件	4件	58件	2件	4件	1件	5件
計	24,562冊	1,172冊	25,734冊	750冊	172冊	12冊	934冊	65件	245件	3件	284件	310件	3件	93件	44件	137件
前年度計	24,630冊	1,388冊	26,018冊	815冊	170冊	26冊	1,011冊	81件	256件	12件	201件	259件	12件	162件	51件	213件

貸出依頼受付件数

	平成20年度	平成21年度	平成21年度の内訳	
			県内分	県外分
貸出依頼受付件数	26,376件	26,024件	24,844件	1,180件
所蔵対応件数	25,668件	25,255件	24,083件	1,172件
購入対応件数	350件	479件	479件	0件
貸出対応 小計	26,018件	25,734件	24,562件	1,172件
借受・他館紹介等	90件	91件	91件	0件
提供不可	268件	199件	191件	8件

(9)障がい者サービス
郵送貸出の利用

新規 登録	資料別													合計
	図書	朗読テープ	デザイン版	点字雑誌	ビデオ	CD	DVD	楽譜その						
21年 4月	1人	34件	21件	3件	5件	0件	11件	1件	1件	1件	1点	1点	1点	76件
		利用冊数	29タイトル	1タイトル	12冊	0点	39点	2件	2件	2件	2点	0点	0点	266点
	0人	33件	17件	3件	5件	2件	5件	2件	0件	0件	0点	0点	0点	67件
		利用冊数	17タイトル	1タイトル	12冊	9点	16点	2件	2件	2件	2点	0点	0点	191点
	1人	37件	25件	3件	3件	5件	10件	2件	0件	0件	2点	0点	0点	85件
		利用冊数	32タイトル	1タイトル	8冊	12点	40点	0件	0件	0件	2点	0点	0点	279点
	2人	36件	24件	3件	5件	4件	8件	0件	0件	0件	0点	0点	0点	80件
		利用冊数	34タイトル	1タイトル	12冊	15点	30点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	240点
	2人	34件	21件	3件	3件	2件	8件	2件	0件	0件	2点	0点	0点	73件
		利用冊数	24タイトル	1タイトル	5冊	4点	24点	0件	0件	0件	2点	0点	0点	207点
	1人	39件	21件	3件	4件	3件	9件	3件	0件	0件	0点	0点	0点	79件
		利用冊数	25タイトル	1タイトル	10冊	9点	31点	0件	0件	0件	0点	0点	0点	216点
	1人	32件	22件	3件	4件	5件	10件	0件	0件	0件	0点	0点	0点	76件
		利用冊数	30タイトル	1タイトル	10冊	18点	37点	1件	1件	1件	1点	0点	0点	245点
	9人	102冊	18件	3件	5件	6件	5件	6件	0件	0件	0点	0点	0点	76件
		利用冊数	24タイトル	1タイトル	15冊	18点	11点	2件	2件	2件	2点	0点	0点	213点
	2人	41件	19件	3件	3件	3件	7件	3件	0件	0件	1点	0点	0点	78件
		利用冊数	24タイトル	1タイトル	9点	9点	21点	2件	2件	2点	2点	0点	0点	255点
	5人	35件	17件	3件	5件	5件	5件	5件	0件	0件	0点	0点	0点	70件
		利用冊数	26タイトル	1タイトル	11点	19点	16点	0件	0件	0点	0点	0点	0点	242点
	1人	25件	18件	3件	5件	4件	11件	2件	0件	0件	0点	0点	0点	68件
		利用冊数	24タイトル	1タイトル	12点	14点	39点	2件	2件	2点	2点	0点	0点	210点
	4人	48件	20件	3件	4件	3件	8件	0件	0件	0件	0点	0点	0点	86件
		利用冊数	33タイトル	1タイトル	10点	10点	30点	0件	0件	0点	0点	0点	0点	249点
	29人	432件	243件	36件	51件	42件	97件	12件	1件	1件	12点	1冊	1冊	914件
		利用冊数	322タイトル	863点	126冊	137点	334点	12点	12点	12点	12点	1冊	1冊	2,813点
	22人	433件	282件	0件	8件	56件	101件	11件	0件	0件	11点	0点	0点	891件
		利用冊数	282タイトル	1,011点	21冊	178点	283点	11点	11点	11点	11点	0点	0点	2,779点

※今年度から「ことばのうみ」テープ版貸出数とデザイン版(本館製作)貸出数を新たに加えた。

※朗読テープは、音と映像のフロアでの貸出の他、「ことばのうみ」テープ版と「声の情報誌」テープ版の貸出総数。

音訳サービスの利用及び調査相談件数

		朗読テープの作成		対面朗読		電話音訳		計	調査 相談 件数
		職員	ボランティア	職員	ボランティア	職員	ボランティア		
21年 4月	実施件数	4件	4件	0件	0件	5件	17件	30件	64件
	のべ時間	3.5時間	77.0時間	0.0時間	0.0時間	1.5時間	12.2時間	94.2時間	
5月	実施件数	2件	5件	0件	0件	13件	12件	32件	52件
	のべ時間	7.0時間	49.0時間	0.0時間	0.0時間	4.6時間	6.8時間	67.4時間	
6月	実施件数	3件	5件	0件	0件	5件	15件	28件	56件
	のべ時間	7.0時間	69.0時間	0.0時間	0.0時間	2.9時間	10.8時間	89.7時間	
7月	実施件数	4件	5件	0件	0件	9件	17件	35件	55件
	のべ時間	11.0時間	63.0時間	0.0時間	0.0時間	2.0時間	12.3時間	88.3時間	
8月	実施件数	4件	4件	0件	1件	8件	16件	33件	53件
	のべ時間	11.0時間	73.0時間	0.0時間	6.0時間	1.8時間	11.9時間	103.7時間	
9月	実施件数	4件	4件	0件	1件	4件	16件	29件	49件
	のべ時間	13.0時間	59.0時間	0.0時間	2.0時間	0.8時間	13.4時間	88.2時間	
10月	実施件数	4件	4件	0件	0件	8件	16件	32件	64件
	のべ時間	11.0時間	55.0時間	0.0時間	0.0時間	4.6時間	13.8時間	84.4時間	
11月	実施件数	4件	4件	0件	0件	5件	14件	27件	62件
	のべ時間	9.0時間	27.0時間	0.0時間	0.0時間	1.3時間	11.9時間	49.2時間	
12月	実施件数	5件	6件	0件	0件	5件	14件	30件	52件
	のべ時間	13.0時間	29.0時間	0.0時間	0.0時間	1.3時間	13.9時間	57.2時間	
22年 1月	実施件数	6件	6件	0件	0件	6件	14件	32件	57件
	のべ時間	8.0時間	67.0時間	0.0時間	0.0時間	2.0時間	12.9時間	89.9時間	
2月	実施件数	5件	3件	0件	0件	7件	8件	23件	53件
	のべ時間	9.0時間	35.0時間	0.0時間	0.0時間	1.8時間	12.0時間	57.8時間	
3月	実施件数	5件	5件	0件	0件	7件	12件	29件	147件
	のべ時間	13.0時間	47.0時間	0.0時間	0.0時間	2.6時間	12.1時間	74.7時間	
計	実施件数	50件	55件	0件	2件	82件	171件	360件	764件
	のべ時間	115.5時間	650.0時間	0.0時間	8.0時間	27.2時間	144.0時間	944.7時間	
前年度計	実施件数	47件	64件	0件	1件	63件	148件	323件	644件
	のべ時間	83.5時間	292.7時間	0.0時間	2.0時間	22.8時間	117.0時間	518.0時間	

(10)施設見学状況

	施設調査		一般見学		児童生徒見学		うち閉架書庫見学		調べ学習		職場体験		合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
平成21年 4月	0	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10
5月	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	1	3	2	7
6月	0	0	1	1	4	96	0	0	0	0	0	0	5	97
7月	1	22	1	30	1	24	1	24	0	0	1	3	4	79
8月	2	30	0	0	3	76	2	49	0	0	0	0	5	106
9月	0	0	1	14	1	59	0	0	0	0	0	0	2	73
10月	0	0	1	10	2	34	0	0	0	0	2	5	5	49
11月	0	0	4	175	1	5	0	0	1	9	2	6	8	195
12月	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2	0	0	2	4
平成22年 1月	0	0	0	0	3	73	0	0	0	0	0	0	3	73
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	52	9	240	17	373	3	73	2	11	6	17	37	693
前年度合計	6	121	19	346	27	532	5	102	7	308	7	25	66	1,332

6 広報活動並びに刊行物

(1) 広報活動

イ 広報誌

- ・宮城県図書館だより『ことばのうみ』

第31号（平成21年7月）、第32号（平成21年12月）、第33号（平成22年3月）を発行。

ロ テレビ・ラジオ

- ・エフエムいずみ放送の番組「Lady, Go!」に毎月第2木曜日に職員が出演し、施設の利用案内、主催事業等について広報した。また、テレビ・ラジオ・新聞等のメディアを利用して随時広報を実施。

ハ インターネット

- ・行事案内、新着資料案内等をホームページに掲載。
- ・メールマガジンの発行

第4号（平成21年4月）第5号（平成21年5月）第6号（平成21年6月）第7号（平成21年7月）第8号（平成21年8月）第9号（平成21年9月）第10号（平成21年10月）第11号（平成21年11月）第12号（平成21年12月）第13号（平成22年1月）第14号（平成22年2月）第15号（平成22年3月）

(2) 刊行物

イ 平成21年度要覧

（企画協力班）

ロ 利用案内

（企画協力班）

ハ 第40回子どもの本展示会目録

（利用サービス班）

ニ 児童図書の新刊紹介「子どもの森・本のいずみ」NO. 128～139

（利用サービス班）

ホ 平成21年度図書館・公民館図書室等現状調査

（企画協力班）

ヘ 宮城県図書館協会だより

（総務班）

7 平成21年度の主な行事

月	行 事 等	備 考
4	15日 レファレンス事例のWeb公開開始 16日 ボランティア専門講座（音訳Ⅰ①） 18日 子どもの本展示会（～4/30） 23日 ボランティア専門講座（音訳Ⅰ②）	
5	13日 ボランティア専門講座（音訳Ⅰ③） 14日 ボランティア専門講座（音訳Ⅰ④） 15日 公共図書館等初任者研修（前期） 22日 図書館協会監査会・役員会・総会 ボランティア追加登録者養成講座（一般講座補講） 23日 ボランティア追加登録者養成講座（一般講座補講） 29日 公共図書館連絡会議①	
6	1日 第1回防災訓練 19日 公民館図書室職員研修 25日 第1回宮城県図書館協議会	
7	4日 常設展「きらめく叡智と美のしずく展」（～10/15） ボランティア専門講座（図書館案内①） 10日 ボランティア専門講座（図書館案内②） 12日 第2回防災訓練 25日 館長講座①「アテルイとは何者？」 宮城県図書館創立記念日（創立128周年）	
8	5日 図書館親子ツアー① 8日 図書館親子ツアー② 28日 公共図書館等初任者研修会（後期） 29日 館長講座②「モウレ（母礼）とは何者？」	
9	14日 本館貴重資料公開サイト「叡智の杜Web」が国立国会図書館デジタルアーカイブポータル（PORTA）で公開開始 26日 館長講座③「北方進出を急ぐヤマトの意図は何？」 30日 ボランティア専門講座（音訳Ⅱ①）	
10	3日 ボランティア養成講座（音訳Ⅱ②） 5日 第3回防災訓練 16日 公共図書館等職員研修会Ⅰ 28日 宮城県図書館郷土資料件名標目表電子情報化事業（緊急雇用創出事業）（～1/31） 宮城県図書館古典籍目録電子情報化事業（同）（～3/25）	
11	6日 公共図書館等職員研修Ⅱ 7日 みやぎ県民大学①「辞書の面白さ 再発見」 14日 みやぎ県民大学②「太宰と歩く魯迅の仙台」 18日 貴重資料専門調査 19日 特別展「THE MANGA～みやぎが生んだヒーローたち～」 20日 公共図書館連絡会議② 21日 みやぎ県民大学③「『環海異聞』の物語」 ボランティア専門講座（図書館案内②） 28日 みやぎ県民大学④「宮城県内の災害と地域復興の記録」	

12	4日 公共図書館等職員研修会Ⅲ 5日 みやぎ県民大学⑤「日本の国のかたち～歴史や文化の基層を訪ねて」 貴重資料専門調査 19日 貴重資料専門調査	
1	16日 貴重資料専門調査 29日 特別整理期間（～2/10）	
2	5日 貴重資料専門調査 25日 第2回宮城県図書館協議会	
3	11日 ボランティア全体研修会・22年度ボランティア養成講座	

IV 平成22年度事業計画

1 平成22年度予算

(単位：千円)

区 分	予 算 額 (21年度当初)	概 要
管 理 経 費	212,570 (228,309)	本館の運営維持費（定員内職員の人件費を除く）
図 書 館 協 議 会	454 (439)	図書館協議会運営費
図 書 館 運 営 費	3,553 (3,884)	機器使用料, 消耗品等に要する経費
市 町 村 支 援 費	53,545 (53,252)	市町村図書館・公民館図書室の支援に要する経費
企 画 広 報 費	746 (747)	広報等に要する経費
資 料 購 入 費	42,711 (42,767)	資料購入費
貴重資料保存修復事業費	2,031 (2,257)	本館所蔵貴重資料の保存及び修復に要する経費
合 計	315,610 (331,655)	

2 平成22年度事業計画

(1) 生涯学習に役立つ図書館

資料の収集・整備

① 目的

宮城県図書館は、すべての県民が目的に応じた知識や情報を入手して、生活の向上、地域の発展に貢献し、広く文化的な営みを持つための情報提供の拠点として存在する。

このような本館の使命にかんがみ、公平かつ長期的な視点に立って、公共図書館として備えるべき適切な蔵書構成の実現を図るものである。

② 収集に努める資料

a 広く県民の学習に供する資料

b 県民の多様な調査・研究に役立つ資料

c 次世代の育成のための宮城資料及び児童資料

d 県民の「知る自由」に応えることができる資料

e 時間の経過にあっても輝きを失わない資料

f 市町村図書館等からのニーズに応えることができ、かつ本館の目的に合う資料

資料費予算配分

(単位 千円)

	需用費	備品費	計	装 備 費 等
逐次刊行物	11,500	0	11,500	装備委託業務
郷土	1,890	433	2,323	2,970
調査相談	356	0	356	視聴覚データ作成委託
視聴覚	1,643	0	1,643	967
児童	5,912	0	5,912	
障害者	268	0	268	
一般図書	16,772	0	16,772	
計	38,341	433	38,774	3,937
合 計				42,711

蔵書点検 (特別整理期間)

平成23年1月27日 (木) から平成23年2月2日 (水) までの6日間

生涯学習情報の提供

No.	事業名	内 容	対 象	期 日	会場
1	図書館 ボランティア研修	ボランティアに必要な図書館活動等の考え方や技術の理解を促すため、各分野の研修を行う。	図書館ボランティア登録者	随時	県図書館
2	上映会	図書館所蔵の視聴覚資料 (LD, ビデオ, DVD) を活用した上映会を通じて県民の多様な学習ニーズに応える。	県民	毎月第2・4 土日曜日 (5月:GWと 第4土日)	県図書館 ミニシアター 一青柳館
3	夏休み親子映画会	心の交流を対象とした内容の映画鑑賞を通じて、家族間のコミュニケーション、交流の機会を提供し、家族の絆の深化、家族の教育力の向上を支援する。	県民	8月21日(土) 8月22日(日)	県図書館 ミニシアター 一青柳館

No	事業名	内 容	対 象	期 日	会場
4	家族で観る映画会	豊かな心情を育てる内容の映画鑑賞を通じて家族間のコミュニケーション、交流の機会を提供し、家族の絆の深化、家庭の教育力の向上を支援する。	県民	1月8日(土) 1月9日(日)	県図書館 ミニシアター 青柳館
5	春休み 子ども映画会	春休み期間に幼児・児童を対象にして豊かな心情を育てる内容の映画に触れる機会とする。	県民	3月26日(土) 3月27日(日)	県図書館 ミニシアター 青柳館
6	『プロジェクト22』	職員による研究成果等を県民に提供する。	県民	未定	県図書館
7	館長講座	図書館長による教養講座 「ヨーロッパにみる地方分権」	県民	7月31日(土) 8月28日(土) 9月25日(土)	県図書館
8	みやぎ県民大学 『専門施設 開放講座』	職員による本館資料を活用した講座を実施する。	県民	11月,4回	県図書館

利用しやすい図書館への工夫

No	事業名	内 容	対 象	期 日	会場
1	インターネットによる資料の予約	導入した予約サービスに支障が出た場合、その改善を図る。	県図書館	随時	県図書館
2	施設見学	学校や市民グループなど団体を対象とした施設見学を通じて、図書館の機能を紹介する。	市町村・ 学校司書	随時	県図書館
3	広報活動	広報誌『ことばのうみ』『子どもの森・本のいずみ』の発行やメールマガジンなどを通じて広く図書館を紹介する。	県民	随時	県図書館
4	ビジネス支援 コーナーの充実	関係機関・団体・金融機関等から資料を収集・配架しコーナーの充実に努める。	県民	随時	県図書館
5	館内表示の工夫	来館者が利用しやすいように様々な工夫を行う。	県民	随時	県図書館

(2) 情報の拠点としての図書館

市町村図書館への支援・連携・協働

No.	事業名	内 容	対 象	期 日	会場
1	巡回相談	県内すべての市町村図書館訪問し、運営の相談や情報提供を行う。	市町村 図書館	4月15日(木) 4月16日(金) 4月20日(火) 4月22日(木) 4月23日(金) 4月27日(火) 4月30日(金) 5月7日(金) 5月11日(火) 9月30日(木) 10月1日(金) 10月7日(木) 10月8日(金)	市町村 図書館
2	公共図書館 連絡会議	市町村図書館支援、図書館の運営や相互貸借等の情報交換を行う。	図書館職員	6月11日(金) 11月20日(金)	県図書館
3	公共図書館等 初任者研修会	県内市町村図書館等の初任職員を対象に図書館職員としての基本的な研修を行う。	勤務経験 2年以内の 図書館職員、 公民館図書 室担当者	5月15日(金) 8月27日(金)	県図書館
4	公共図書館等 職員研修会	公共図書館等の職員を対象に著作権法やレファレンスサービス等の研修を行う。	図書館職員、 公民館図書室 担当者	10月22日(金) 11月5日(金) 12月3日(金)	県図書館 市町村 図書館
5	公民館図書室 職員研修会	公民館図書室運営上の基本的事項について研修を行う。	公民館図書 室担当者	7月2日(金)	県図書館

いつでもどこでもサービスが受けられる体制の充実

No.	事業名	内 容	対 象	期 日	会場
1	図書館ネットワー クシステムの整備	本館及び県内市町村図書館の蔵書を同時に検索できるシステムを整備するとともに、よりよいサービスの提供を目指し、次期システムを検討する。	県図書館	随時	県図書館
2	障がい者サービスの 充実	郵送による貸出・返却サービスや音訳サービスなど障がい者サービスの充実に努める。	県図書館	随時	県図書館

調査研究に役立つ機能の充実

No.	事業名	内容	対象	期日	会場
1	課題解決に役立つ 県内の施設の紹介	県内の高等教育機関、図書館類縁機関 をホームページで紹介する。	県図書館		県図書館
2	レファレンス事例 の作成・公開	本館に寄せられた多くの問い合わせや 質問の中から具体的な事例をホームペ ージで紹介する。	県図書館	随時	県図書館

(3) 次世代を育成する図書館

郷土関係資料の維持・充実

No.	事業名	内容	対象	期日	会場
1	宮城に関する 資料の収集	宮城に関する資料の収集と郷土関係 論文目録データベースの充実を図る。	県図書館	随時	県図書館
2	宮城県の行政資料 の収集	行政資料の収集と県職員向けの情報発 信を行う。	県図書館	随時	県図書館

子どもの読書環境の充実

No.	事業名	内容	対象	期日	会場
1	おはなし会	絵本・紙芝居の楽しさを共有・共感 する機会を提供し、子どもの読書及び 図書館利用の習慣を育てる。	県民	毎月 第1水曜日、 第1土曜日 及び日曜日、 第2及び第3 の金曜日及び 土曜日、 第4土曜日	県図書館 こども図 書室
2	子どもの本展示会	前年に出版された児童図書を紹介し、 新しく児童図書を購入する際の参考 に供する。	市町村図書館 公民館図書室 学校図書館 県民	4月17日(土) ～4月29日(木)	県図書館
3	子どもの本 移動展示会 (県内市町村 図書館向け)	「子どもの本展示会」で展示した資 料を、県内市町村図書館等での展示会 用に貸し出し、新しく児童図書を購 入する際の参考に供する。	市町村図書館 公民館図書室	5月17日(月) ～2月25月 (金)	市町村 図書館、 公民館 図書室
4	子どもの本 移動展示会 (小学校向け)	過去に出版された名作を中心とした 読み物と絵本のセットを、市町村小 学校での展示会用に貸し出し、子 どもの読書環境づくりや読書活動の普及に 努める。	小学校	5月17日(月) ～2月25月(金)	小学校

「宮城県図書館次世代プロジェクト」の推進

No.	事業名	内容	対象	期日	会場
1	複製資料貸出事業	『坤輿万国全図』（国指定重要文化財）、『環海異聞』（宮城県指定有形文化財）、『源氏物語絵巻』や『枕草子』など、日本の文化や歴史を伝える資料のレプリカを貸し出す。	高等学校、 図書館、 公民館	随時	高等学校 市町村 図書館、 公民館
2	貴重資料の専門調査の実施	本館に継承された貴重資料の保存と活用を図るため、研究者による専門調査を実施する。		未定	県図書館
3	貴重資料の保存修復	貴重資料の資料的価値を損なうことなく保存・継承するため、貴重資料の保存修復を推進する。	県図書館	未定	県図書館
4	特別展・企画展	展示室において、貴重な所蔵資料等を広く一般に公開し、学術・文化の振興に資する。	県民	通年 (休館日を 除く)	県図書館
5	プロジェクト22 (再掲)	職員による研究成果などを県民に提供する。	県民	未定	県図書館
6	みやぎ県民大学 (再掲)	職員による本館資料を活用した講座を実施する。	県民	未定	県図書館
7	館長講座 (再掲)	図書館長による教養講座 「ヨーロッパにみる地方分権」	県民	7月25日(土) 8月29日(土) 9月26日(土)	県図書館
8	施設見学 (再掲)	学校や市民グループなど団体を対象とした施設見学を通じて、図書館の機能を紹介する。	市町村・ 学校司書	随時	県図書館
9	図書館親子ツアー	親子を対象に閉架書庫など図書館の裏側を紹介する。	小学校 低中学年児と その保護者	8月4日(木) 8月7日(土)	県図書館

3 平成22年度図書館協議会

図書館の運営に関して館長の諮問に応じるとともに、図書館の奉仕活動について意見を述べる機関。

第30次宮城県図書館協議会委員

(任期：平成22年3月1日～平成24年2月29日) 平成22年6月1日現在

氏 名	役 職 名	備 考
鵜飼 信好	宮城県漁業信用基金協会 理事長	
小川 きょう子	小川ピアノ教室 主催	
奥山 恒義	宮城県石巻西高等学校 校長	
齋藤 俊子	仙台市立太白小学校 校長	
澤井 清	元宮城学院女子大学 教授	再任
千葉 和江	石巻市図書館 館長	
横田 隆雄	大和町公民館 館長	
渡辺 雅昭	(株)河北新報 編集局生活文化部長	

V 資 料

1 特殊文庫

(1) 伊達文庫

もと仙台藩主伊達家の旧蔵書で、昭和24年に購入したもので、内容は和古書3,253点(19,197冊)、漢籍666点(9,980冊)、洋書251点(504冊)で合計4,170点(29,681冊)です。堀田正敦編の『禽譜』、光悦本『謡本』、大槻玄沢の『厚生新編』、仙台藩関係の絵図、古版本、古写本等の貴重資料が多数含まれています。

(2) 小西文庫

仙台の旧家小西家の蔵書で、昭和22年に同家より寄贈されたもので、和古書1,303点(3,147冊)、漢籍271点(1,213冊)で合計1,574点(4,360冊)です。大槻玄沢自筆の『育才呈案』、藤塚知明の名山蔵文庫本、古医学書ほか和漢の典籍が含まれています。

(3) 青柳文庫

仙台藩内から江戸へ出て成功した商人の青柳文蔵の寄付を基礎とした「青柳文庫」の旧蔵書です。明治14年の本館創立に際して、宮城師範学校から引き継いで、養賢堂蔵書とともに本館蔵書の母体になりました。内容は和古書311点(1,468冊)、漢籍156点(1,995冊)合計467点(3,463冊)です。

(4) 養賢堂文庫

仙台藩校「養賢堂」の旧蔵書で、明治14年の本館創立に際し、宮城師範学校から引き継いだもので、和古書196点(727冊)、漢籍67点(1,008冊)合計263点(1,735冊)からなっています。和古書と漢籍の善本に特色があります。

(5) 大槻文庫

『言海』の著者、大槻文彦の旧蔵書です。昭和25年、大槻家より寄贈されました。内容は和古書71点(215冊)です。いずれも大槻家の学問を知るための貴重な資料です。とりわけ『言海』の自筆原稿は白眉です。

(6) 今泉文庫

漢詩人、郷土史家の今泉篁州の旧蔵書で、昭和14年に寄贈されたものです。ほとんどが和書で78点(188冊)からなっています。

(7) 出来文庫

宮城県出身の英語学者・斎藤秀三郎(1866~1929年)の研究者である出来成訓教授(神奈川大学)から平成16年に寄贈されたものです。斎藤秀三郎の代表的著作『斎藤和英大辞典』(1928年)や斎藤が設立した正則英語学校(東京神田)の教科書類、講義録等251点が中心になっています。また、『英文鑑』(翻刻)等の日本の英学史における貴重な資料も含まれています。

(8) その他の文庫等

- ・「佐々久文庫」 元宮城県図書館長で郷土史家の佐々久氏寄贈の同氏所蔵コレクション
- ・「庄司文庫」 昭和53年に寄贈された政治家の庄司一郎氏の旧蔵書(和書を含む約8,700冊)
- ・「井上コレクション」 昭和63年まで約30年間、仙台で街頭紙芝居をしていた井上藤吉氏から平成7年に寄贈されたもの。(手描きの紙芝居 5,333巻, 52,925枚)
- ・宮城県出身の書誌研究家、庄司浅水氏の収集による近代文学作家の肉筆草稿・書簡類

(9) その他の貴重書

- ・坤輿万国全図(国指定重要文化財)
1602年(慶長7年)イタリア人宣教師マテオ・リッチが北京で刊行した世界図です。同版は、本館のほか京都大学附属図書館及びバチカン図書館の3館で所蔵が確認されています。(ほかに、世界図の部分を切り取って貼り直したものが内閣文庫に収蔵されています。)

2 所蔵資料目録刊行状況

(昭和29年以降)

刊行年月	目 録 名
昭和29. 4	宮城県図書館蔵郷土文献目録
37. 3	宮城県図書館蔵書目録 1. 郷土資料篇
38. 3	〃 2. 総記篇
39. 1	〃 3. 哲学篇
40. 1	宮城県内公共図書館逐次刊行物総合目録
41. 3	宮城県図書館蔵書目録 4. 歴史篇
42. 3	〃 6. 自然科学篇
45. 3	〃 9. 芸術篇
46. 3	〃 10. 語学篇
47. 3	〃 8. 産業篇
48. 3	〃 5. (上) 社会科学篇 政治, 法律, 経済
49. 3	〃 5. (下) 社会科学篇 財政, 統計, 社会, 教育, 民俗, 軍事
52. 12	宮城県図書館所蔵戊辰史関係資料目録 (昭和52年12月現在)
53. 12	宮城県図書館所蔵仙台領内交通史関係資料目録 (昭和53年12月現在)
54. 3	宮城県内公共図書館逐次刊行物総合目録 (昭和53年12月31日現在)
55. 3	宮城県郷土資料総合目録
56. 3	〃 一県人著作・行政資料篇一
57. 3	宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録 (昭和56年12月31日現在)
58. 3	小西文庫和漢書目録
59. 3	青柳・今泉・大槻・養賢堂文庫和漢書目録
60. 3	宮城県図書館漢籍分類目録
62. 3	伊達文庫目録
63. 3	宮城県内公共図書館所蔵逐次刊行物総合目録 (昭和62年5月1日現在)
平成元. 3	宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録 (第二編) (昭和63年12月31日現在)
2. 3	宮城県図書館所蔵雑誌所収児童文学関係文献目録
3. 3	宮城県図書館和古書目録
4. 3	宮城県郷土資料件名標目表
5. 3	宮城県図書館所蔵絵図・地図解説目録
6. 3	宮城県図書館の貴重書 (一般古書編)
9. 3	宮城県図書館蔵書目録 CD-ROM
10. 10	宮城県図書館蔵書目録 CD-ROM (1997年版)
12. 3	宮城県版 I S B N 総合目録 CD-ROM (その後, 年2回の頻度で最新版に更新)
15. 3	宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録 CD-ROM
16. 3	宮城県図書館所蔵紙芝居目録 CD-ROM

20. 3

宮城県図書館所蔵貴重書解説目録

『みやぎの叡智—宮城県図書館貴重書の世界—』

平成22年度 要覧

平成22年6月30日発行

宮 城 県 図 書 館

〒981-3205 宮城県仙台市泉区紫山一丁目1番地1

電 話 022-377-8441 (代表)

F A X 022-377-8484

<http://www.library.pref.miyagi.jp/>

本文用紙は白色度70%再生紙を使用しています。